

福島第一原子力発電所 1号機ダストモニタ設備の点検及び点検時の対応について

2019/11/29

東京電力ホールディングス株式会社

点検内容

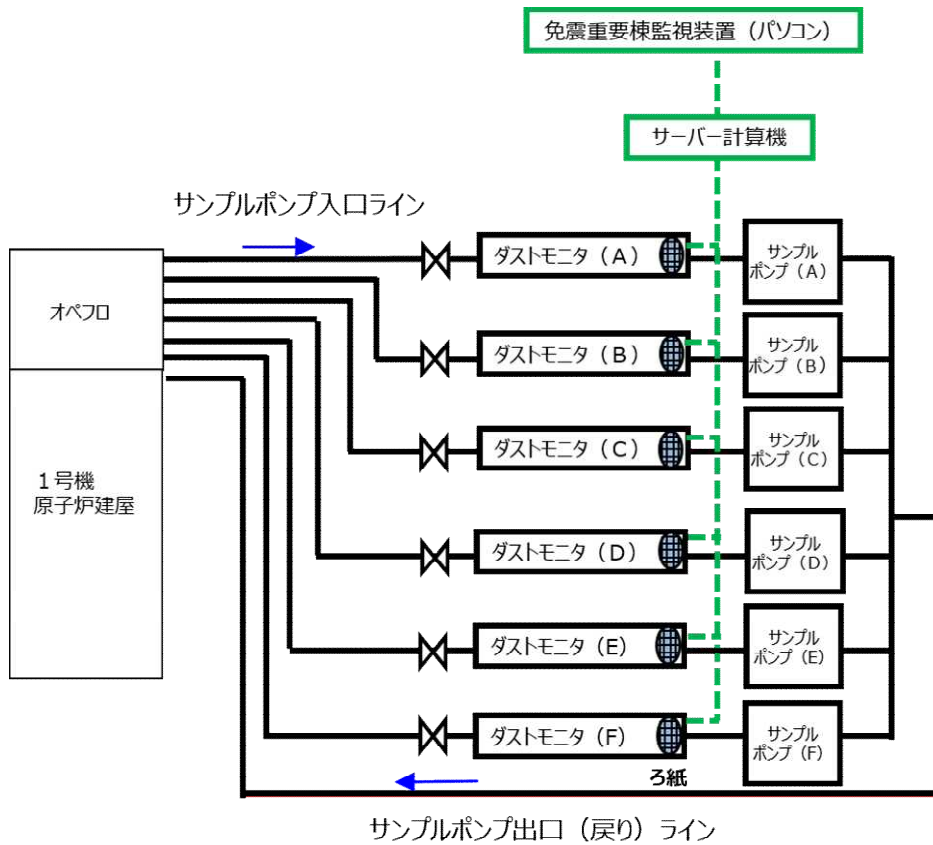
- 点検対象 : 1号機原子炉建屋オペフロダストモニタ設備（ダストモニタ(6台)、サーバー計算機）
- 点検内容 : 定期点検（動作確認、警報確認等）
- 点検期間 : 2019年12月3日～2019年12月10日
- 点検時の対応 :
 - ・ダストモニタ設備点検時、1号機原子炉建屋オペフロ作業は実施しない。
 - ・点検及び警報確認試験は2台毎に実施*し、残り4台で計測。点検終了後、その日に復旧を行う。
 - ・サーバー計算機点検時は免震重要棟の監視機能が一時的に停止するため、現場盤にて監視を行う。

*点検期間中は当該ダストモニタのみ停止。
停止時間は1.5時間程度/台

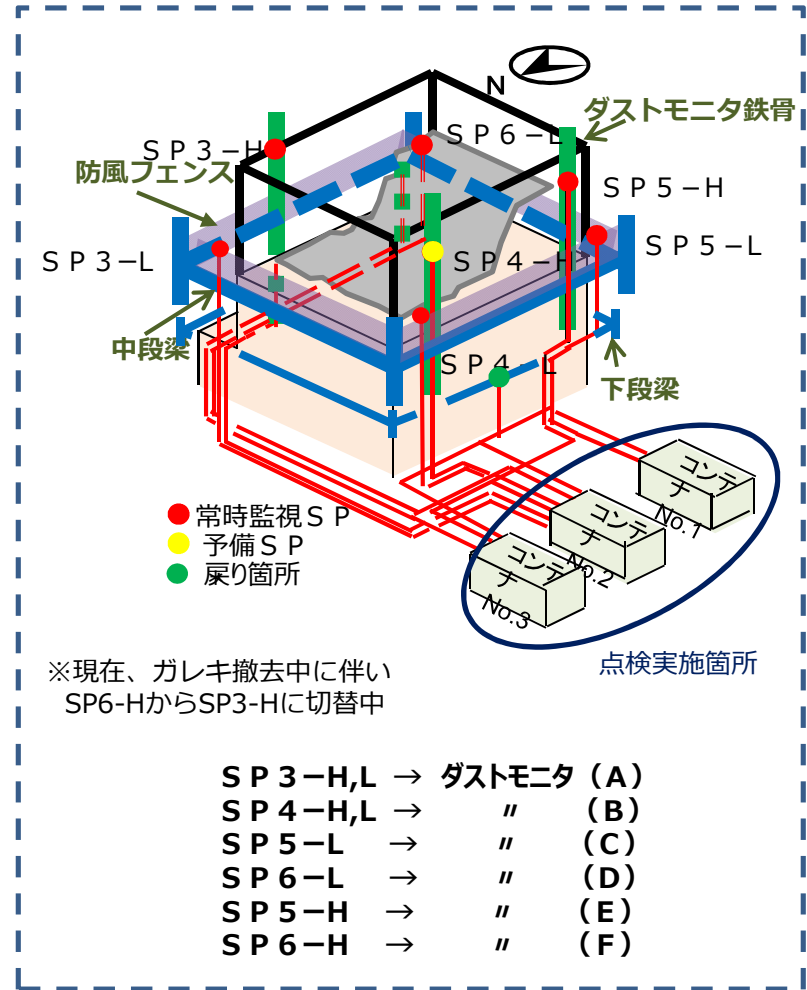
| | 12月3日 | 12月4日 | 12月5日 | 12月6日 | 12月9日 | 12月10日 |
|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------|--------|--------|
| | 火 | 水 | 木 | 金 | 月 | 火 |
| ダストモニタ(A) | | | ○ | | ○ | ○ |
| ダストモニタ(B) | | | ○ | | ○ | ○ |
| ダストモニタ(C) | | ○ | | | ○ | ○ |
| ダストモニタ(D) | | ○ | | | ○ | ○ |
| ダストモニタ(E) | ○ | | | | ○ | ○ |
| ダストモニタ(F) | ○ | | | | ○ | ○ |
| サーバー計算機 | | | | ○ | | |
| | ダストモニタ (E)(F)点検 | ダストモニタ (C)(D)点検 | ダストモニタ (A)(B)点検 | サーバー計算 機点検 | 警報確認試験 | |

○：点検実施項目

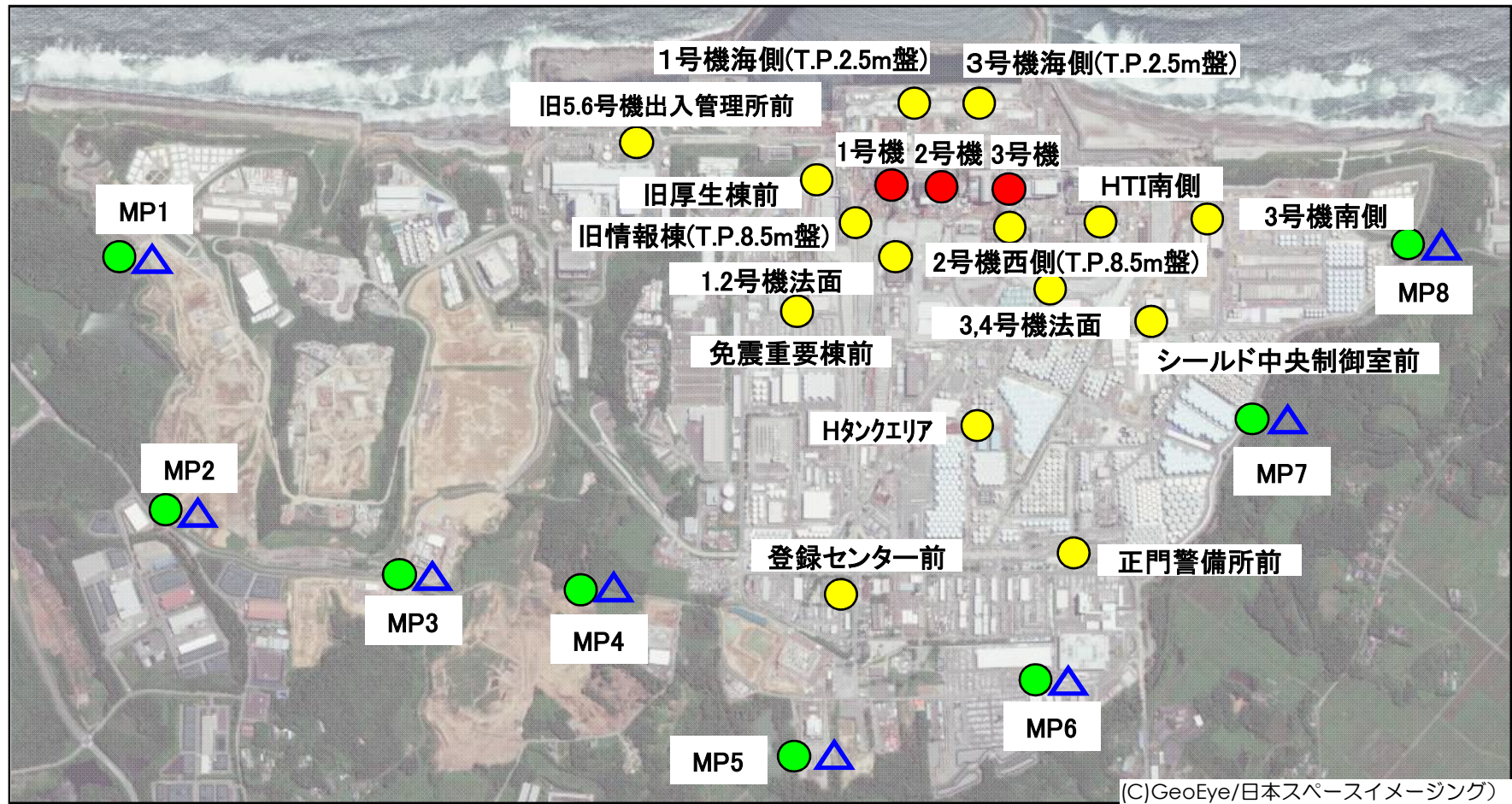
(参考)ダストモニタ系統図



ダストサンプリングノズル配置図



(参考) 放射性物質濃度の監視体制



- オペレーティングフロア上のダストモニタで監視 (1号機：6箇所, 2号機：4箇所, 3号機：5箇所)
- 構内ダストモニタで監視 (15箇所)
- ▲ 敷地境界ダストモニタ (8箇所) による監視
- 敷地境界モニタリングポスト (8箇所)

福島第一原子力発電所 1～3号機 新設窒素ガス分離装置への運転切替に伴う 実施計画Ⅲ第1編第32条の適用について

2019/11/29

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 目的及び日程

【目的】

1～3号機新設の窒素ガス分離装置(A)(B)への運転切替を予定している。その際、非常用窒素ガス分離装置からの窒素供給ができなくなるため、実施計画Ⅲ第1編第32条を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、作業を実施する。

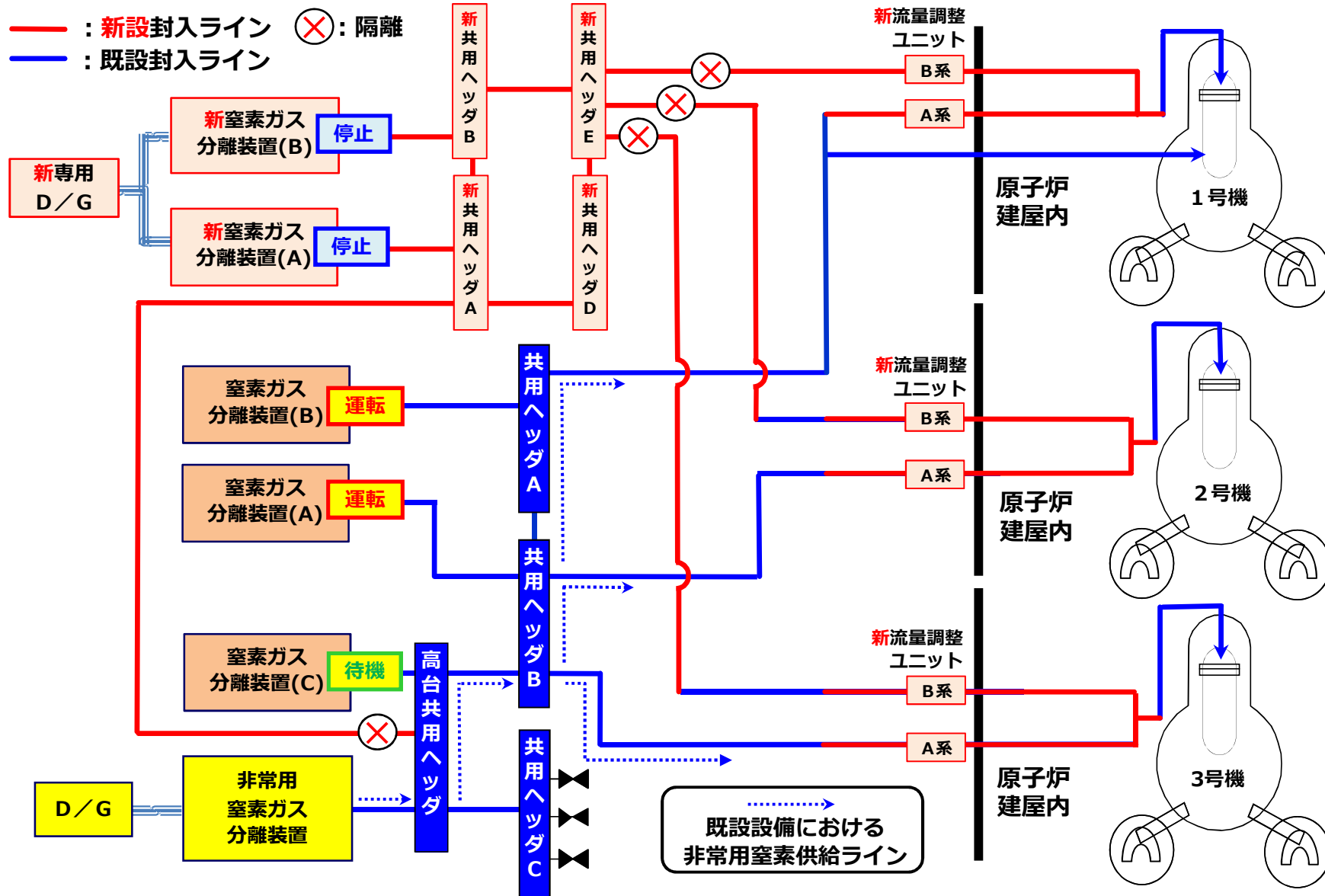
【実施計画Ⅲ第1編第32条適用予定日】

2019年12月10日(火)

【作業内容】

新設窒素ガス分離装置への運転切替

2-1. 窒素封入設備 運転切替前の系統概要



2 - 2. 窒素ガス分離装置の切替作業の流れ

切替前：既設の窒素ガス分離装置から1～3号機 R P V 封入ライン A 系（既設側）を經由して R P V へ窒素封入されている。



①窒素ガス分離装置 既設（A,B）運転，新設（A,B）起動

②1～3号機 R P V 封入ラインを A 系（既設側）から B 系（新設側）への供給に切替（1→2→3号機と順に切替を実施。）
【切替後は非常用からの供給ができなくなる⇒運転上の制限を満足できなくなる】

③高台共用ヘッダから既設の共用ヘッダへの供給ラインを隔離

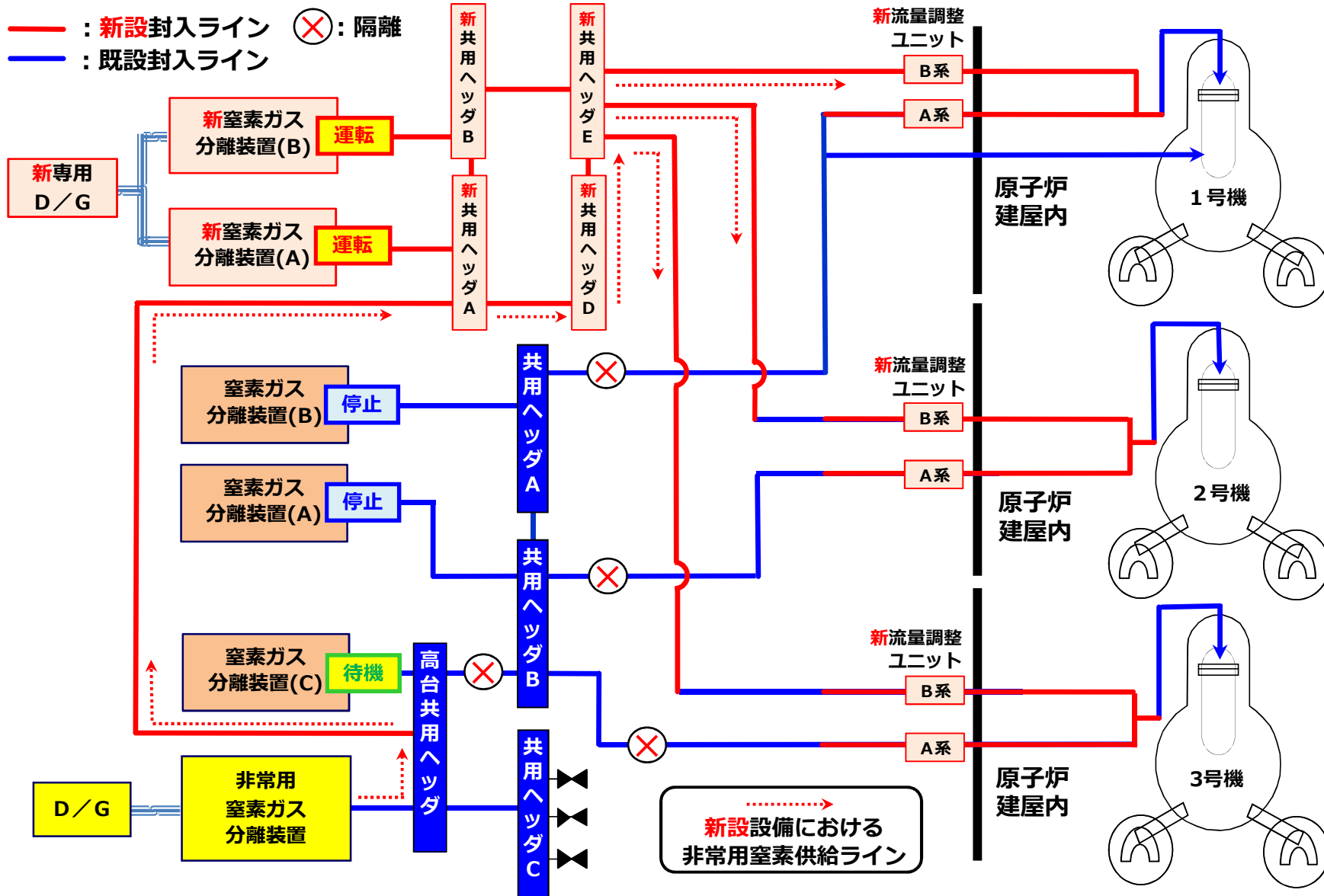
④窒素ガス分離装置 既設（A,B）停止，新設（A,B）運転継続

⑤非常用窒素ガス分離装置から1～3号機への供給を既設ラインから新設ラインに切替
【切替後は非常用からの供給が可能となる⇒第32条適用を解除】



切替作業完了

2-3. 窒素封入設備 運転切替後の系統概要



3. 実施計画上の扱い

非常用窒素ガス分離装置からの窒素供給ラインが隔離されることにより、実施計画Ⅲ第1編第25条を満足出来なくなる。その為、実施計画Ⅲ第1編第32条を適用し、あらかじめ必要な安全措置を定め、計画的に運転上の制限外に移行し、運転切替えを実施する。

第25条（格納容器内の不活性雰囲気維持機能）

【運転上の制限】

窒素封入設備：窒素ガス分離装置1台が運転中であること及び**他の窒素ガス分離装置1台が専用ディーゼル発電機により動作可能であること**

格納容器内水素濃度：2.5%以下

第32条（保全作業を実施する場合）

各GMは、保全作業（試験を含む）を実施するため計画的に運転上の制限外に移行する場合は、あらかじめ必要な安全措置を定め、原子炉主任技術者の確認を得て実施する。

4. 必要な安全措置

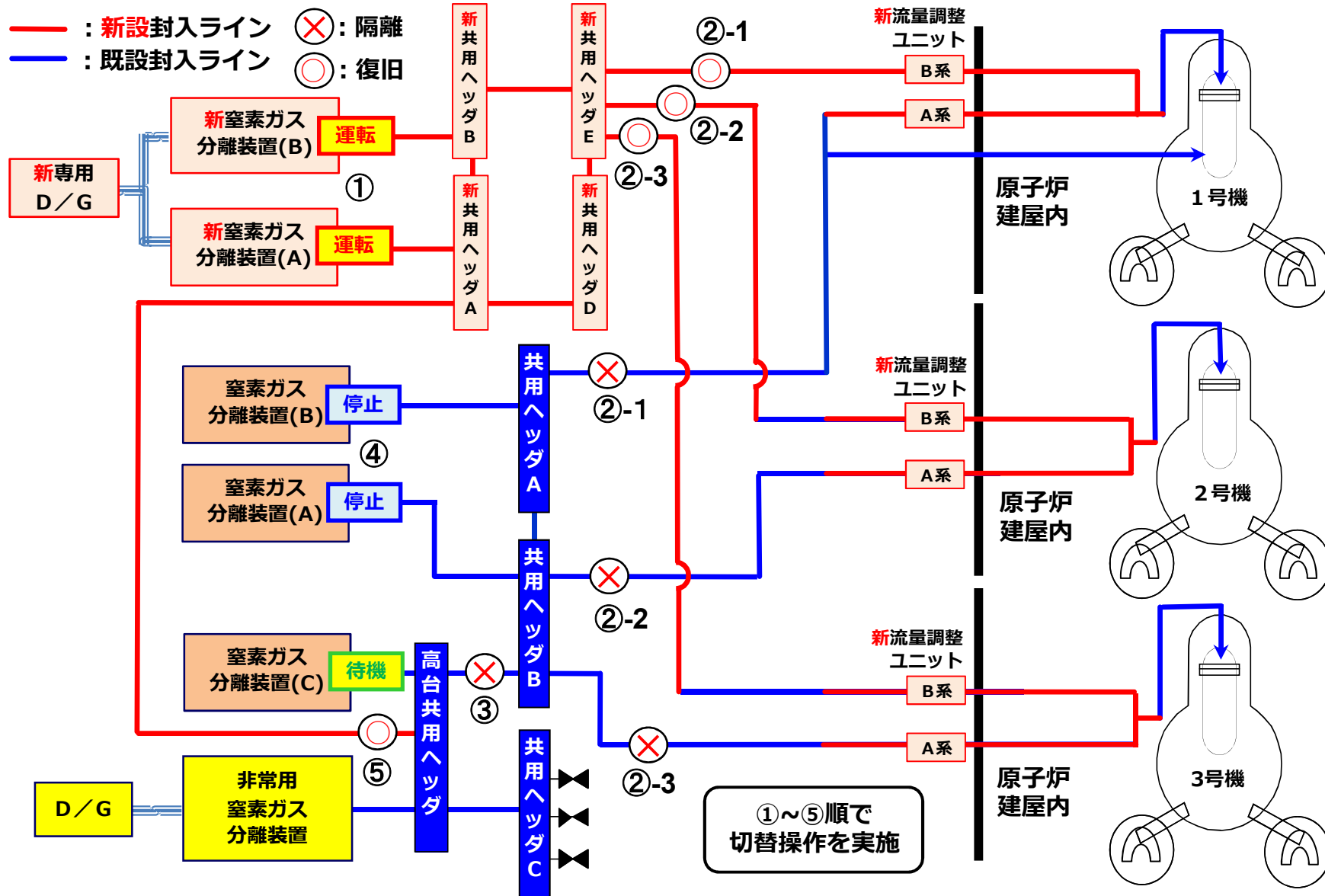
- 窒素ガス分離装置の運転切替作業中は、**常用窒素ガス分離装置**に対する作業及び関連する作業は実施せず、**1台以上の運転を維持**する
- 窒素ガス分離装置の運転切替作業中は、窒素ガス分離装置の電源設備に対する点検作業は実施せず、**常用電源2系統が使用可能な状態**を維持する
- **第25条第2項(2)、(3)を実施する**
実施計画Ⅲ第25条第2項
 - (2) 当直長は、運転中の窒素ガス分離装置の封入圧力が格納容器圧力以上であること及び必要な窒素封入量が確保されていることを毎日1回確認する。なお、必要な窒素封入量が確保できていない場合は速やかに所定の封入量に戻すこと。
 - (3) 当直長は、封入する窒素の濃度が99%以上であることを毎日1回確認する。

5. スケジュール

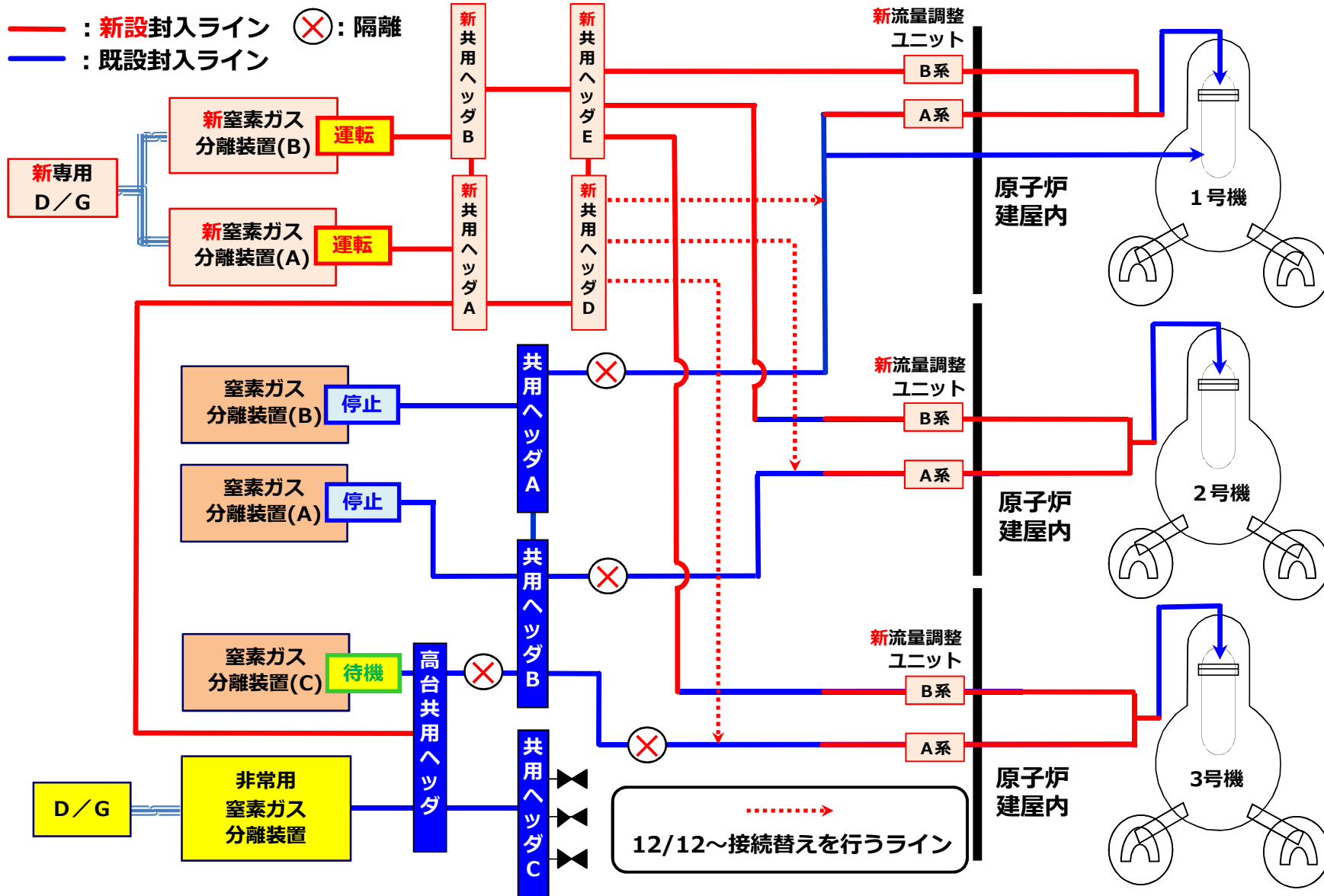


- 12月10日（火） 10:00 実施計画Ⅲ第1編第32条の適用開始予定
- 12月10日（火） 16:00 実施計画Ⅲ第1編第32条の適用解除予定

<参考> 窒素ガス分離装置の切替作業の流れ（系統概要）



<参考> 運転切替後の系統概要 (接続替えライン)



6号機 新燃料除染作業における燃料棒の曲げ事象について

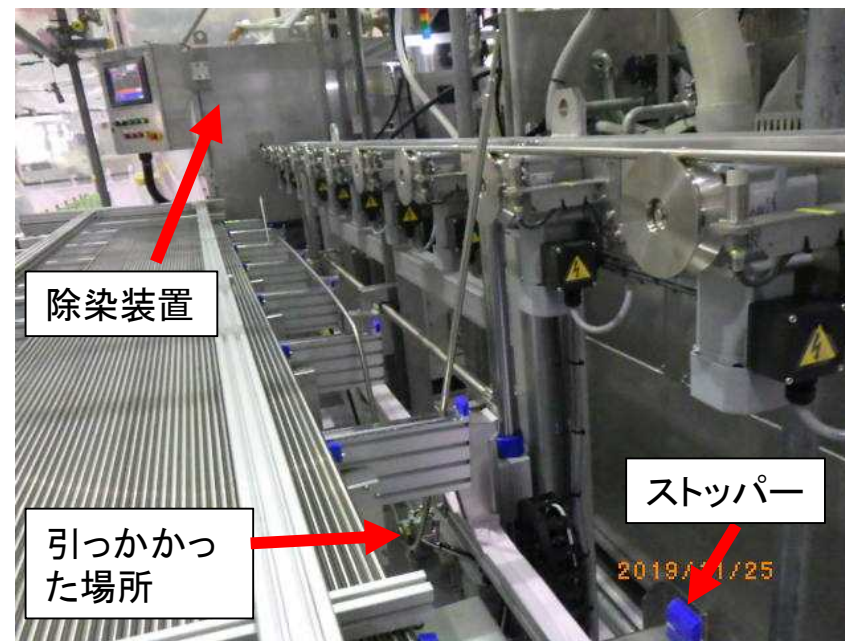
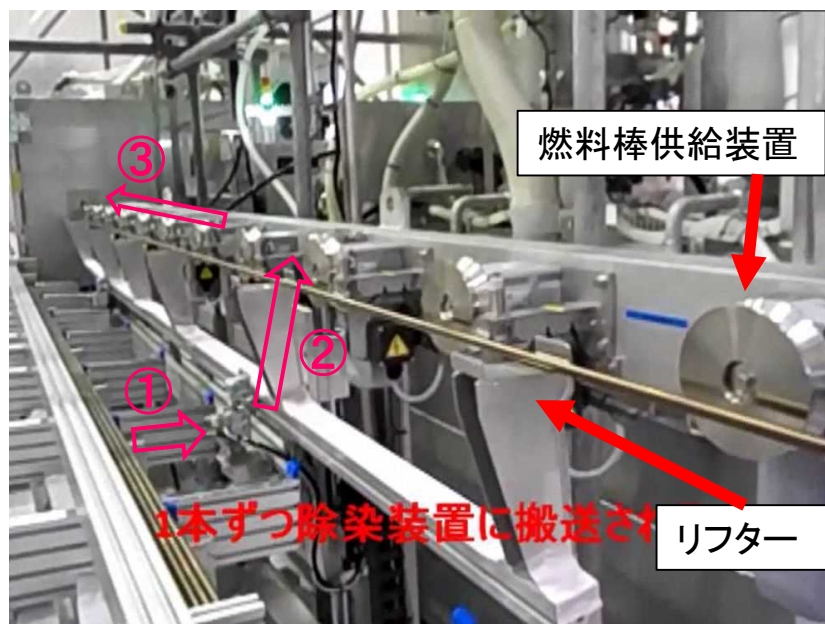
2019年11月29日



東京電力ホールディングス株式会社

1.発生事象概要

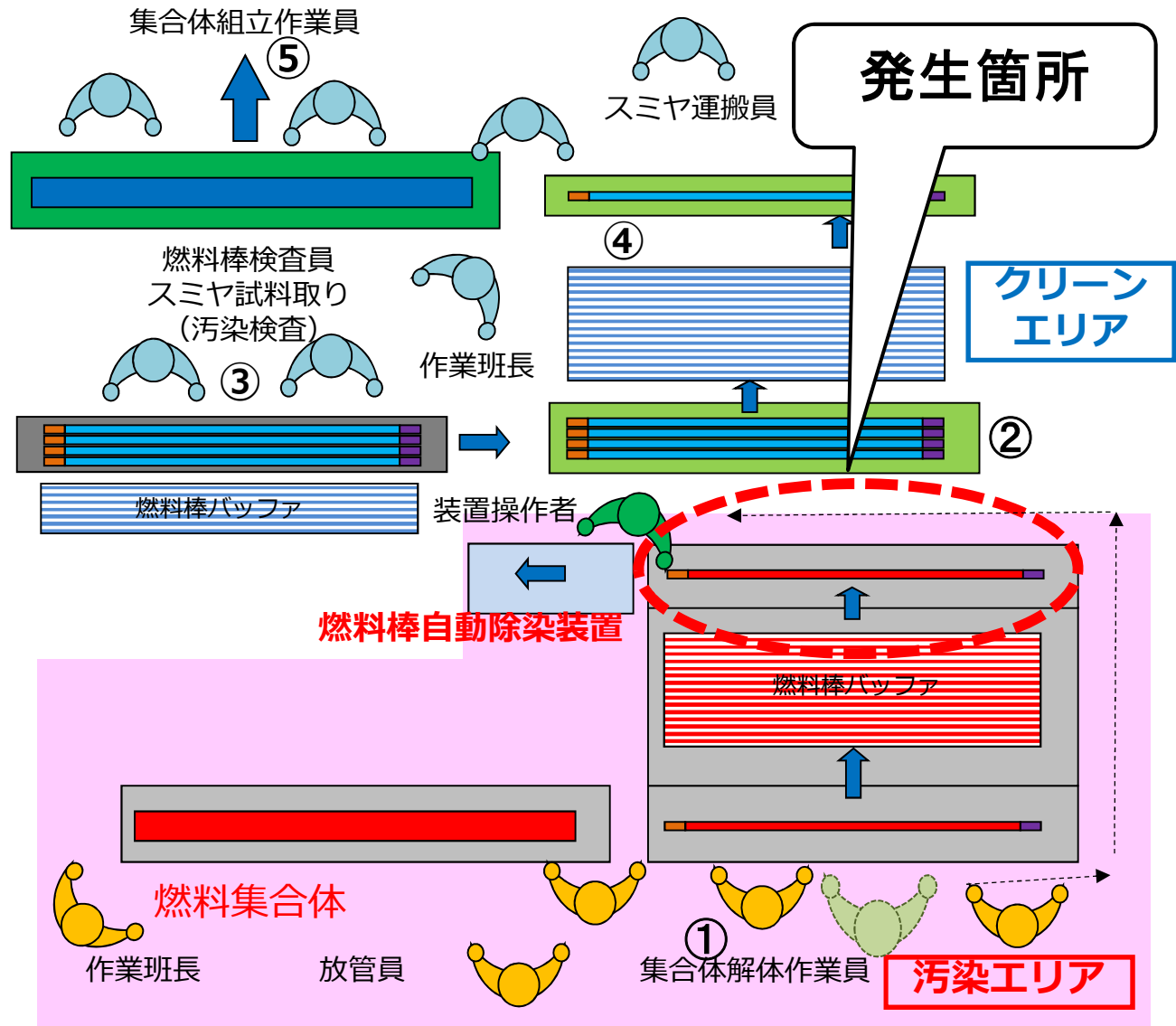
- ▶ 11月25日 6号機新燃料の解体・除染作業を実施していたところ10時50分頃に燃料棒を除染装置にセットする操作が早すぎたため、上下に稼働するリフター（降下中）に挟まれて燃料棒を曲げた。
- ▶ 表面汚染密度の測定結果（35cpm~41cpm）は他の健全燃料と同レベル又、オペフロのエリアモニタ、建屋周辺のダストモニタにも有意な変動はない。また、燃料棒内の加圧ヘリウム（約1MPa）が抜けるような音は確認されていないことから被覆管に貫通するような破損はないと考えている。



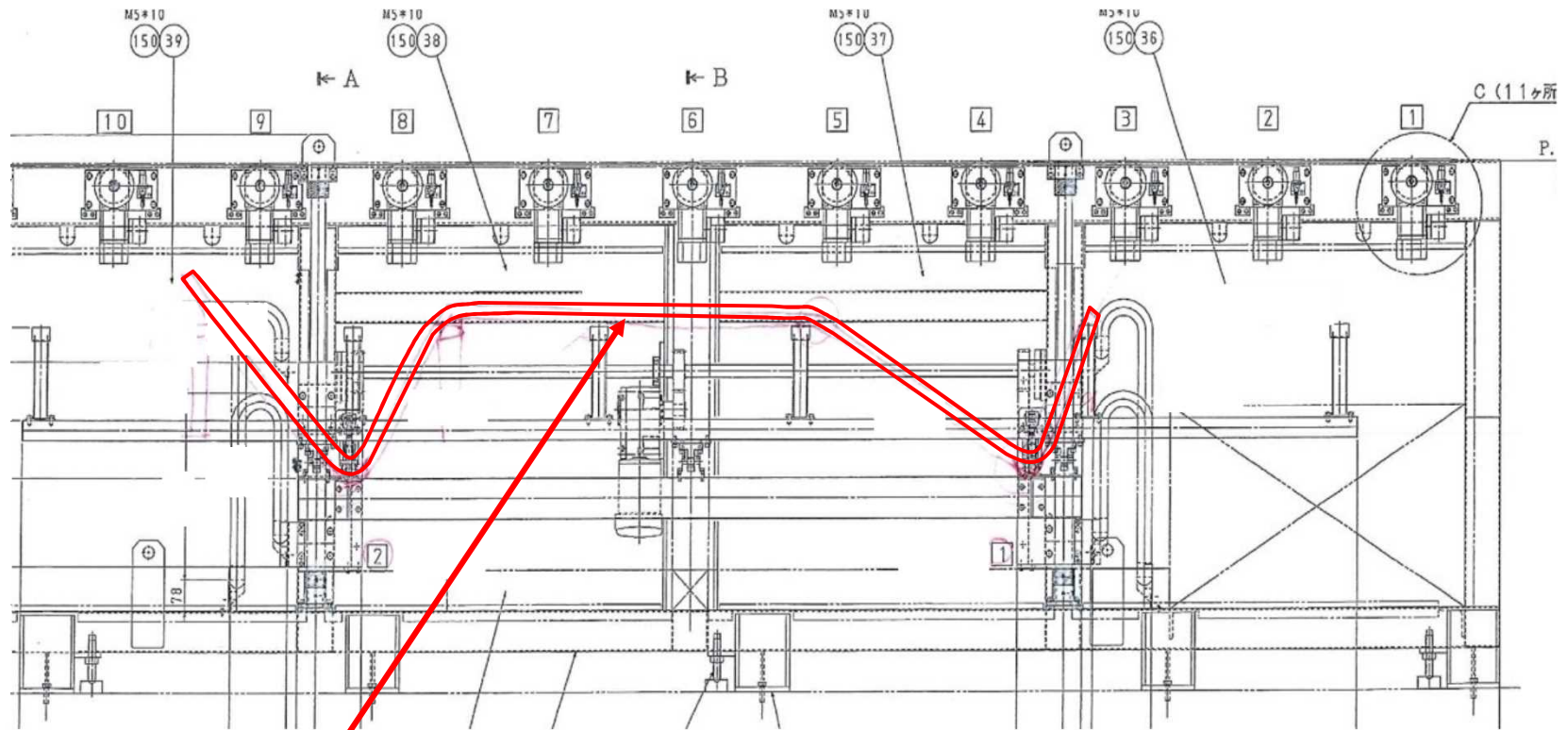
燃料棒の流れ →

2.作業の全体像

- ① 貯蔵されていた燃料集合体を解体して、燃料棒を1本ずつ引き抜く
- ② 燃料棒を自動除染装置で除染する
- ③ 燃料棒に汚染がないこと、傷や曲りがいいことを検査する
- ④ 除染した燃料棒を再び集合体に組み立てる
- ⑤ 集合体に異常がないことを検査し、新燃料貯蔵庫に収納する



3.燃料曲がりの状況



曲がり燃料棒のイメージ

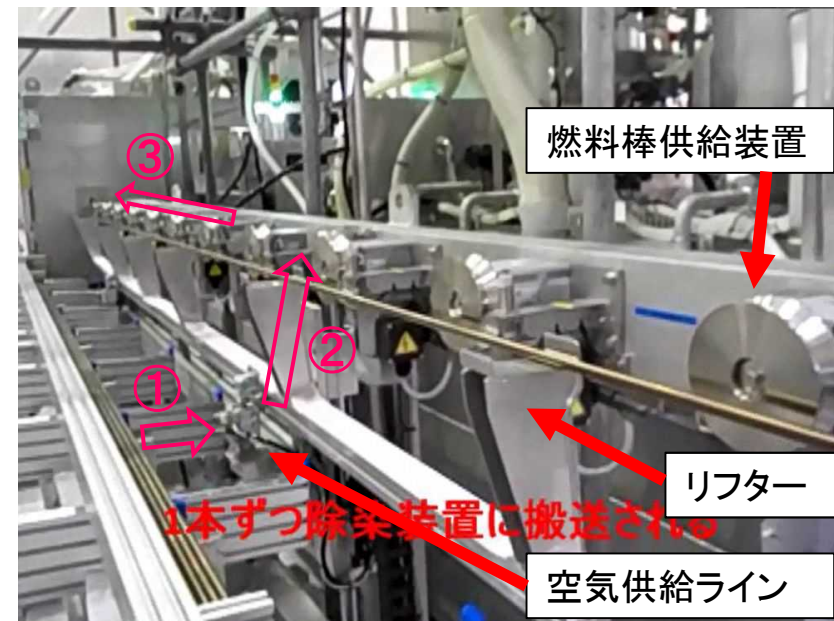
除染装置への送り出し装置

4.発生原因と対策

- 一つ前の燃料棒が除染装置に入りローラ上（燃料棒供給装置）に無いことを確認した後に、次の燃料棒を送り出す操作を行う手順であったが、確認前に燃料棒を送り出してしまい、手順を守れていなかった。リフターが下降中に次の燃料棒がリフターの下に入り込む状態となり、リフター下部にある空気供給ラインに燃料棒が押し下げられた。
- 燃料棒が所定の位置（青色ストッパー手前）にあるとセンサーが感知しリフターが下降しないインターロックは存在したが、燃料棒がセンサーの感知範囲に到達する前にリフターが下がり、リフター下部にある空気供給ラインが燃料棒と干渉したことからインターロックは動作しなかった。

対策

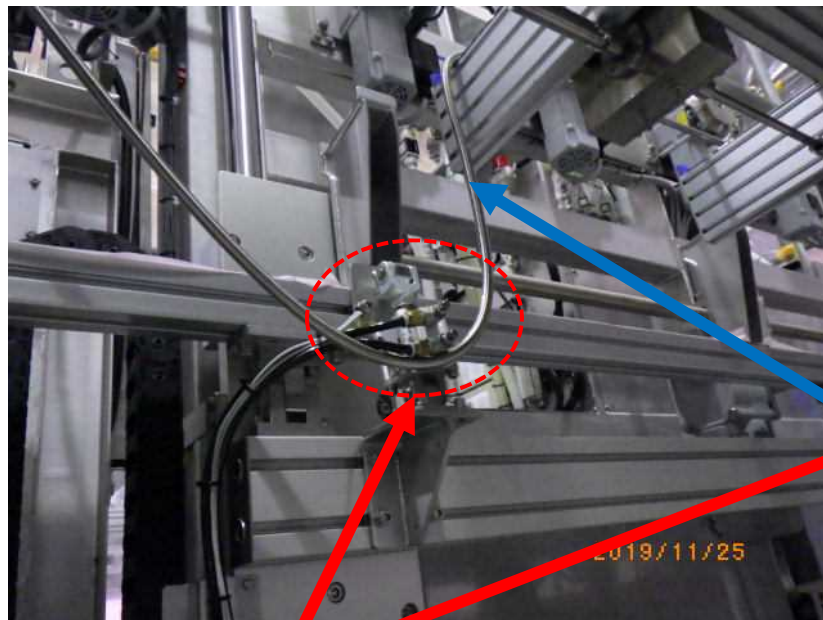
- 設備面による対策及び作業プロセスの見直しを検討中。



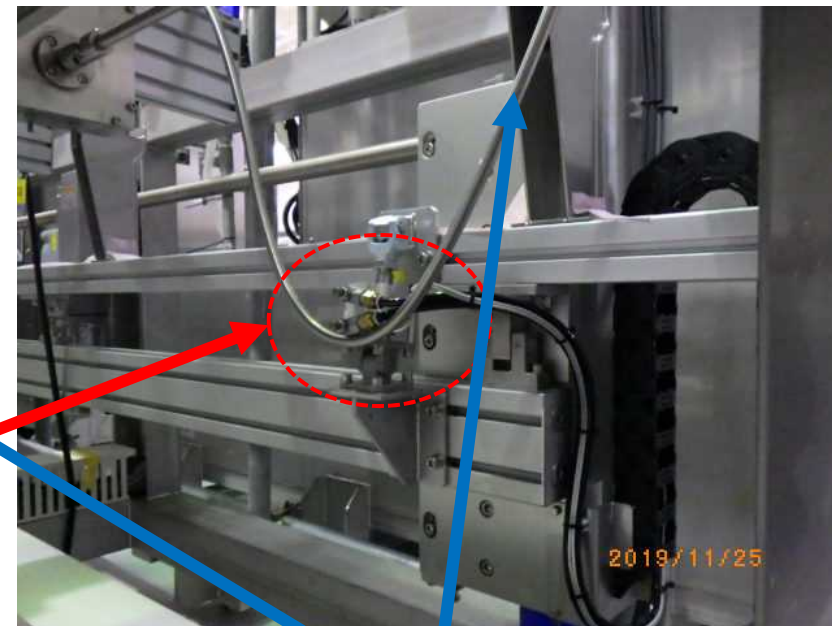
5.今後の対応

- ▶ 燃料プールもしくは、新燃料貯蔵庫に保管するまで、24時間体制で監視し、定期的にダストを測定する（実施中）
- ▶ 解体途中のその他の健全な燃料棒の固縛及び養生（実施済み）
- ▶ 変形燃料に異常が発生した場合に備え、養生の手順及びハウスによる隔離手順等を作成し、作業用の資材を準備する（実施済み）
- ▶ 曲げた燃料棒を装置から取り外す方法を確立し、燃料棒の健全性を確認する
- ▶ 模擬燃料棒で試験を行い、燃料棒の曲げ戻し方法を評価、確認する
- ▶ 曲げた燃料棒の保管方法を検討する
- ▶ 解体途中で保管しているその他の健全な燃料棒と曲げ戻した燃料棒又は模擬燃料棒を集合体に組み立て新燃料保管庫に保管する

【参考】新燃料曲がり状況



引っ掛かり箇所



曲がった燃料棒



【参考】 当該手順書の抜粋

(9) 燃料棒自動除染

A: 使用機材等

| |
|--|
| 【使用設備】 ・自動除染装置 ・純水/圧搾空気 【使用工具等】 ・ボトル |
|--|

B: 作業手順

| No. | 作業手順 | 確認および注意事項 | 備考 | 立会区分 | | 記録区分 /様式 |
|-----|---|---|---------|------|-----|-------------|
| | | | | 電力 | NFI | |
| | (C 区域) | — | — | — | — | — |
| 1 | 燃料棒自動除染モードの確認 1. 燃料棒スミヤモード切替釦を押して、除染装置を自動除染モードとする。 2. POD 画面上で自動除染モードであることを確認する。 | ・原則、C 区域作業員がモード切り換えを行うこと。 | ・自動除染装置 | — | ◎ | |
| 2 | 燃料棒の除染 1. 燃料棒払出装置上に燃料棒が無いことを確認する。 2. 燃料棒引抜作業台の切出し装置を操作して、燃料棒を切出す。 3. 燃料棒の搬送ラインに異常が無いことを確認する。 4. 燃料棒除染装置の除染開始釦を押す。 | ・燃料棒を切り出した際の転がり速度が速すぎないこと。 ・除染装置に異常を示すランプが点灯していないこと。 | | — | ◎ | |

1号機PCV内部調査にかかる アクセスルート構築作業について

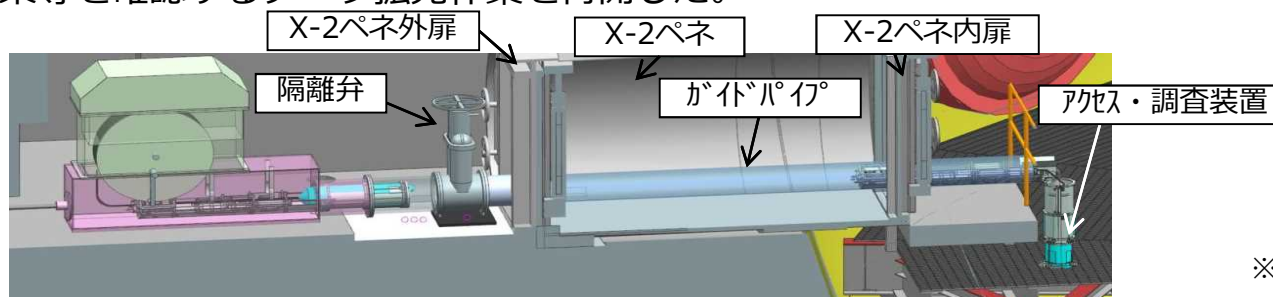
2019年11月29日



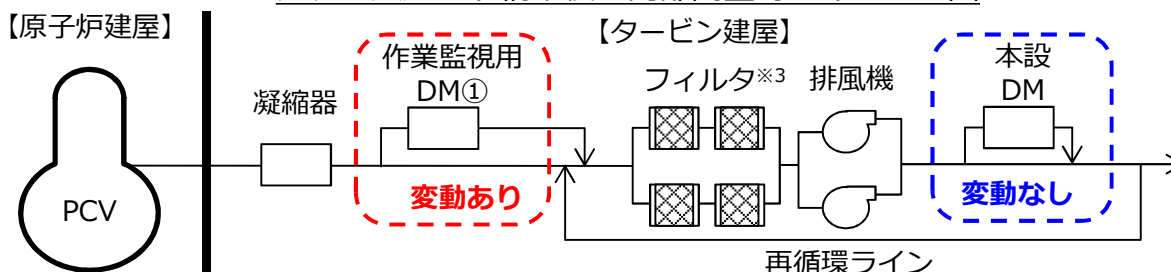
東京電力ホールディングス株式会社

1. X-2ペネからのアクセスルート構築作業状況

- 1号機原子炉格納容器（以下、PCV）内部調査のアクセスルートをX-2ペネトレーション（以下、ペネ）から構築中。
- 6月4日にX-2ペネ内扉（PCV側の扉）について、AWJ※¹にて穿孔作業(孔径約0.21m)を実施したところ、作業監視用ダストモニタ（以下、DM）①の値が作業管理値(1.7×10^{-2} Bq/cm³)※²に達したことを確認（数時間で作業前の濃度レベルに低下）。
- 7月31日～8月2日にかけてデータ拡充作業を実施。作業監視用DM①における最大ダスト濃度は、噴射するPCV内構造物との距離が離れるにつれて、低下する傾向等の情報を取得。
- いずれの作業もPCVガス管理設備の本設DM（フィルタの下流側に設置）および、敷地境界付近のDM等には有意な変動はなく、環境への影響はないことを確認。
- 今後の作業継続に向けてPCV近傍のダスト濃度の監視を充実させるため、PCVヘッド近傍に作業監視用DM②を追加で設置(新設)した後、11月25日よりAWJによるダスト舞い上がり後のダスト濃度の低減効果等を確認するデータ拡充作業を再開した。



アクセスルート構築後の内部調査時のイメージ図

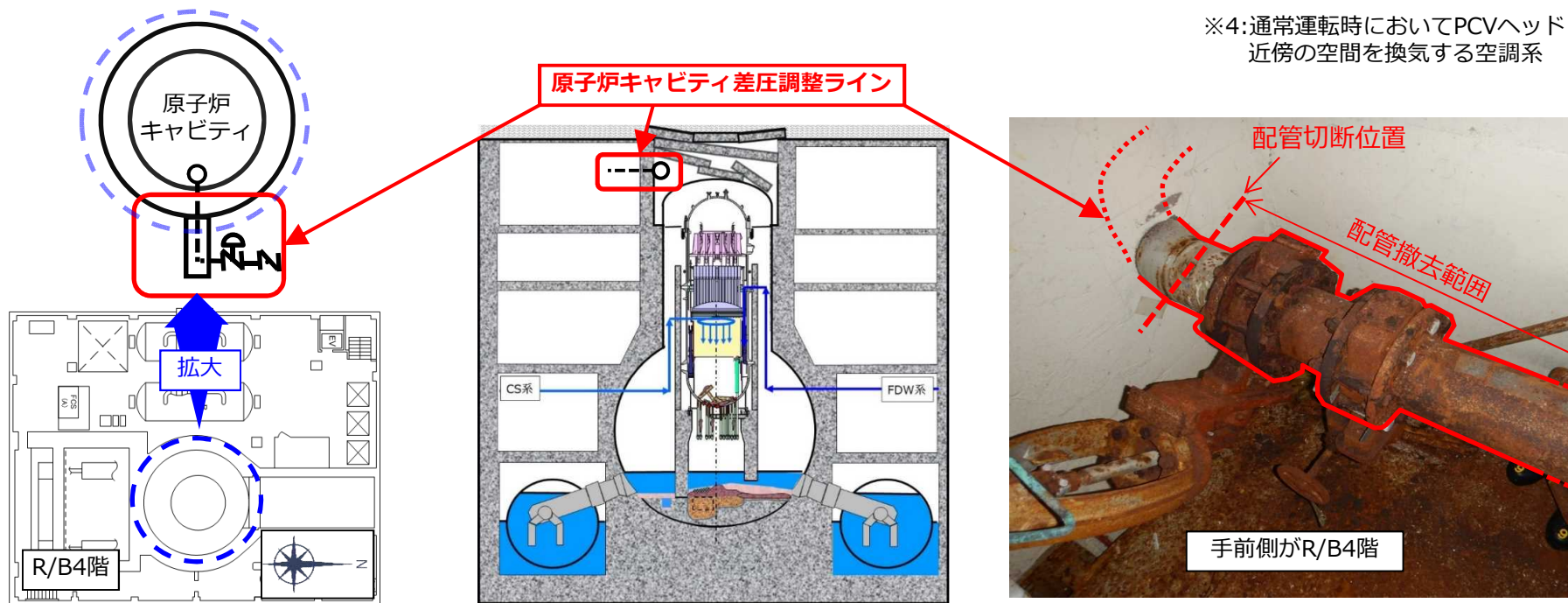


現時点における作業監視用DM設置のイメージ図

- ※1: 高圧水を極細にした水流に研磨剤を混合し切削性を向上させた孔あけ加工機(アブレシブウォータージェット)
- ※2: フィルタのダスト除去能力を考慮し、本設ダストモニタ警報設定値の1/10以下に設定
- ※3: 1ユニットでダストを1/1000以下に除去する能力を有している

2. 作業監視用DMの追加設置状況

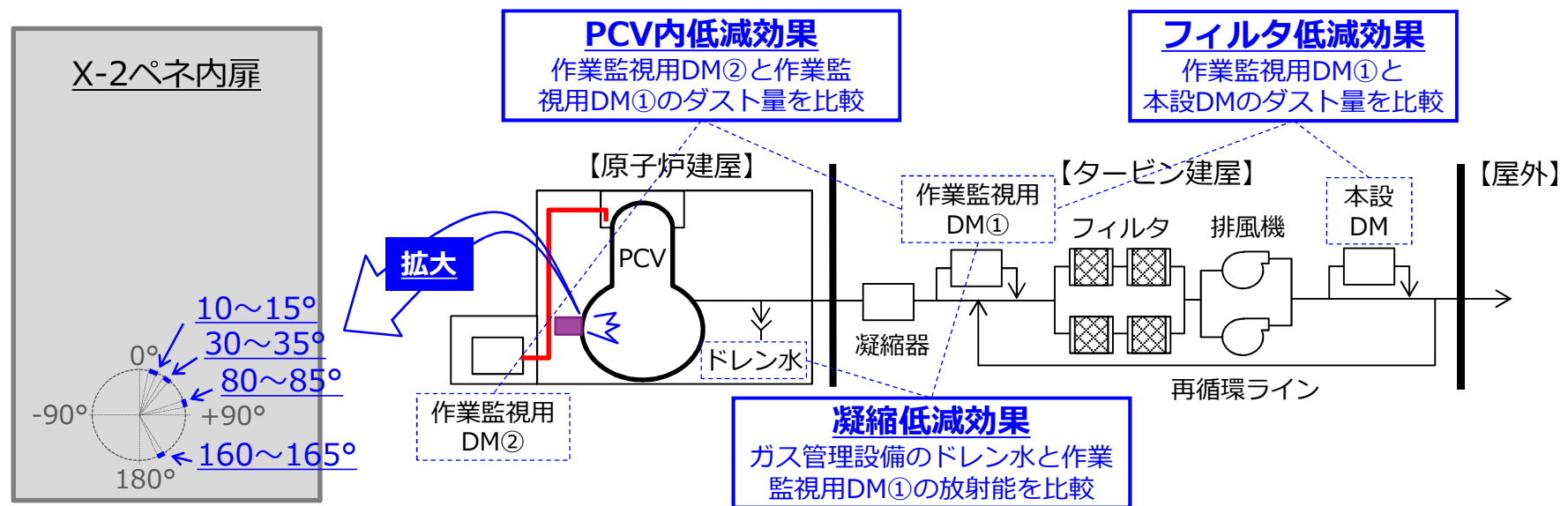
- 原子炉キャビティ差圧調整ライン※4に作業監視用DM②のダスト吸引用ホース(以下、ホース)を敷設するため、原子炉キャビティ差圧調整ラインの配管切断作業を10月25日に実施した。
- 配管内部は汚染が想定されたため、汚染測定を実施。配管内部に汚染を確認したため、汚染拡大防止対策を実施した上で、作業を進めた。なお、作業エリアのダスト濃度上昇は確認していない。
- 汚染拡大防止対策を実施した後、配管内部が閉塞されることなく原子炉キャビティ内に通じていることを11月6日に確認し、配管内にホースの敷設を11月7日に完了した。



原子炉キャビティ差圧調整ラインの位置(平面/立面)イメージ図、および現場写真

3. AWJ作業の更なるデータ拡充について

- データ拡充の目的
 - フィルタなどによるダスト濃度の低減効果のデータ拡充を実施。
※5:前回 (7/31~8/2) はPCV構造物の距離によるダスト発生傾向の把握を目的として行った。
- 作業の方針
 - 実績のある切削時間にて4か所程度※6をAWJで施工。
※6:今後の作業検討にデータが不足する場合は追加施工を行う。
- データ拡充項目
 - フィルタ低減効果：フィルタによるダスト濃度の低減効果を評価。
 - 凝縮効果：凝縮によるダスト濃度の低減効果, およびPCV内濃度を評価。
 - PCV内低減効果：重力沈降や希釈によるPCV内でのダスト濃度の低減効果を評価。

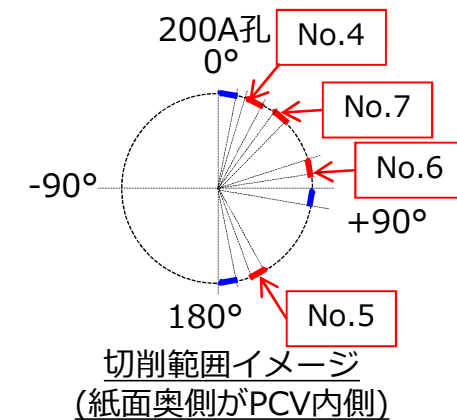


AWJ穿孔作業によるデータ拡充項目の比較イメージ

4. データ拡充作業の結果(1/2)

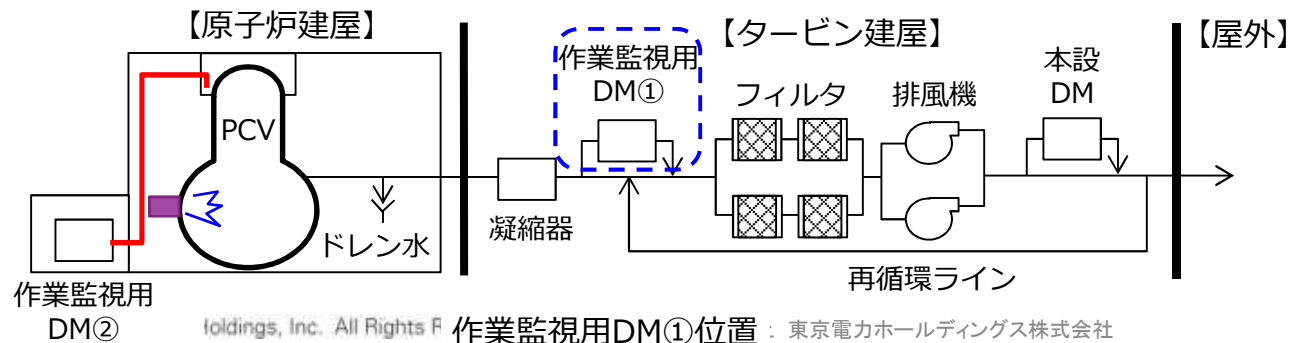
- 11月25日から11月28日までデータ拡充作業を実施。
- 今後、試料の分析およびデータ評価を進め、周辺環境への影響がない範囲で切削時間の適正化を行う予定。
- なお、PCVガス管理設備の本設DM（フィルタの下流側に設置）および、敷地境界付近のDM等には有意な変動はなく、環境への影響はないことを確認。

| No. | 施工範囲 | 作業監視用DM①の 最大ダスト濃度 [Bq/cm ³] | 切削 時間 | 目的 |
|----------|---------------|---|----------|------------------------|
| | ノズル移動範囲 | | | |
| 6/4 | -160°→+160°※7 | 2.7×10^{-2} | 約6分 | - |
| 1 (7/31) | +5°→0° | 9.4×10^{-3} | 約2分 | PCV構造物の距離によるダスト発生傾向の把握 |
| 2 (8/1) | 180°→+175° | 1.1×10^{-2} | 約2分 | |
| 3 (8/2) | +95°→+90° | 4.9×10^{-3} | 約2分 | |
| 4(11/25) | +15°→+10° | 1.9×10^{-3} | 約2分 | フィルタなどによるダスト濃度の低減効果の把握 |
| 5(11/26) | +165°→+160° | 2.1×10^{-3} | 約2分 | |
| 6(11/27) | +85°→+80° | 確認中 | 約2分 | |
| 7(11/28) | +35°→+30° | 確認中 | 約2分 | |



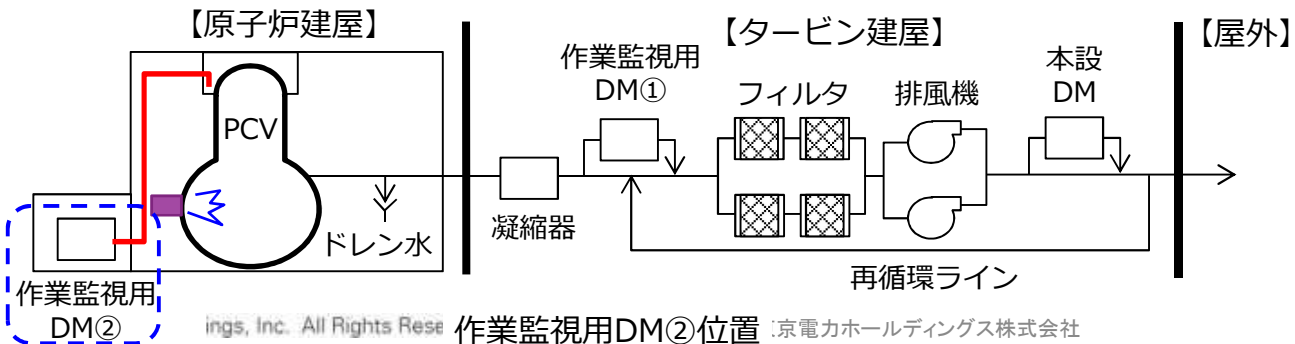
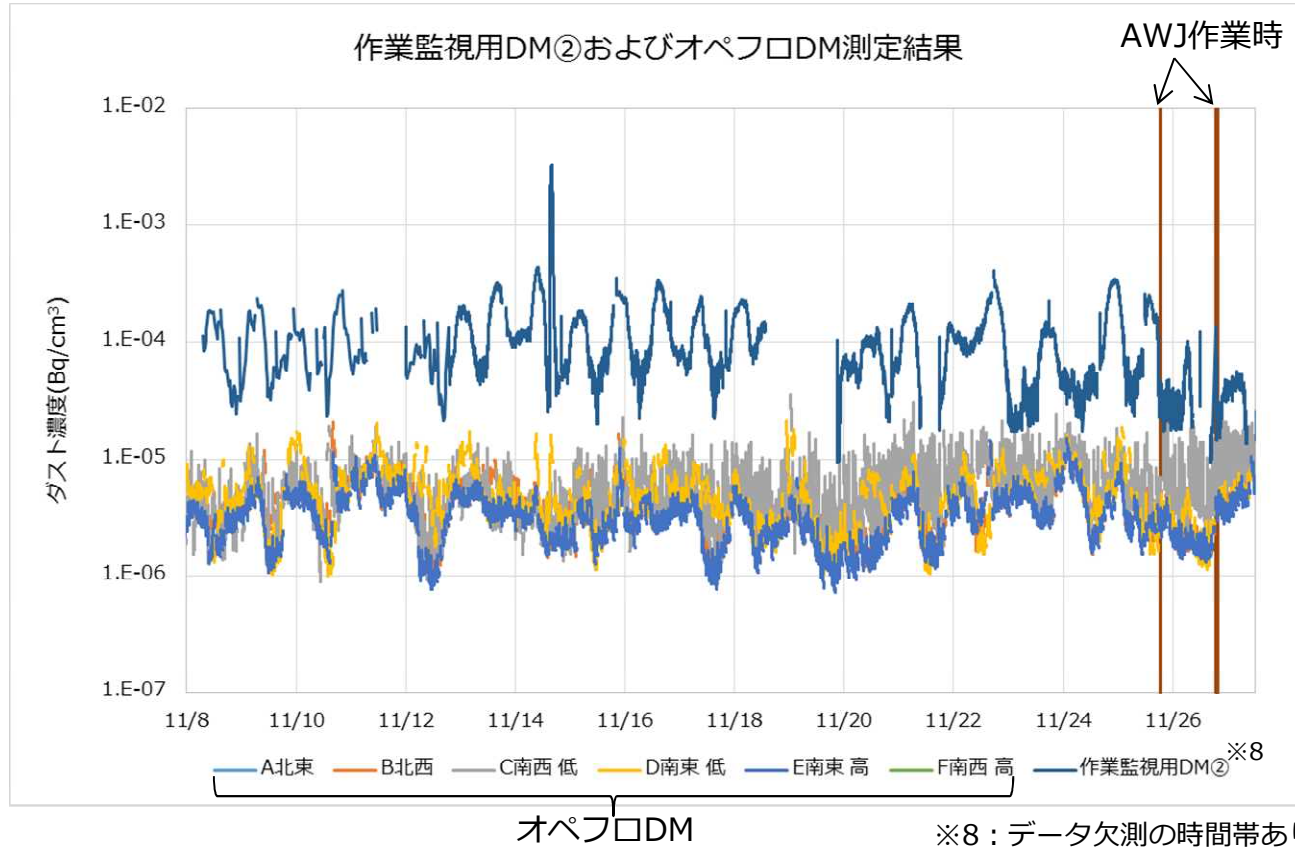
※7：貫通範囲は-160°～180°と推定

※：今後の作業検討にデータが不足する場合は追加施工を行う。



4. データ拡充作業の結果(2/2)(PCVヘッド近傍ダスト濃度変化)

- AWJ作業によるPCVヘッド近傍のダスト濃度は有意な変動は確認されていない。



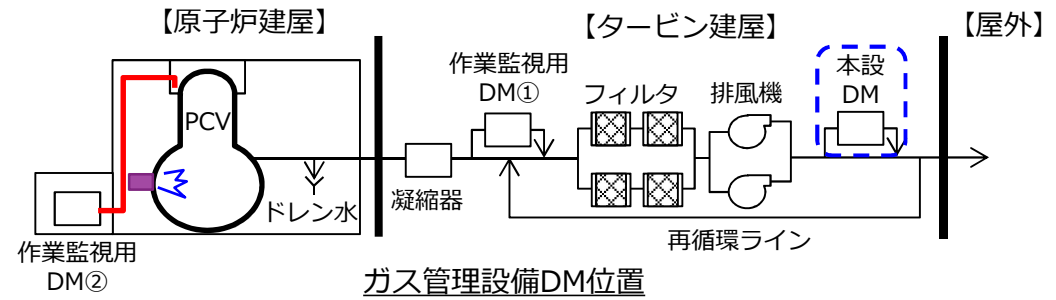
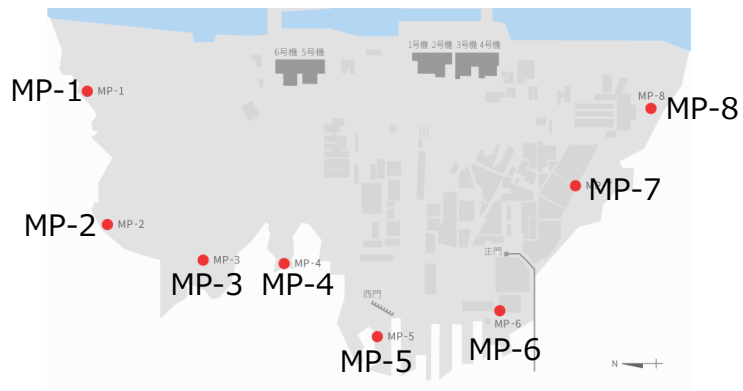
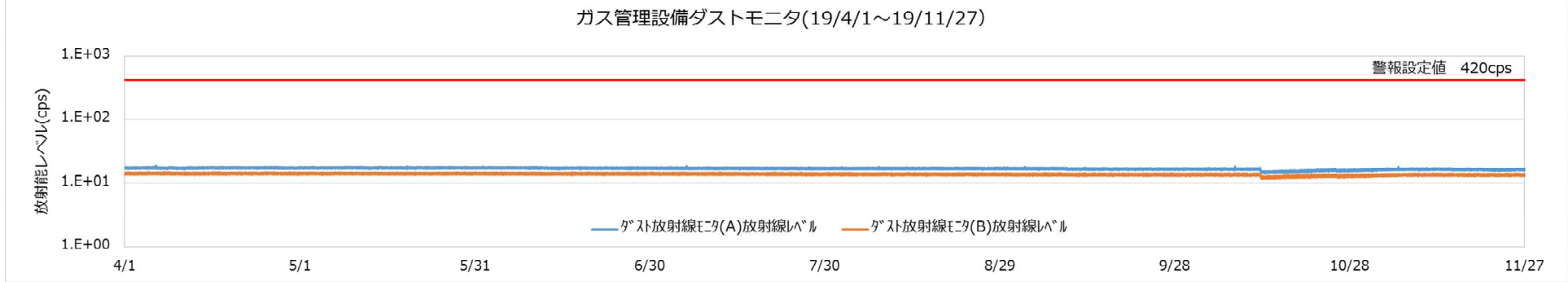
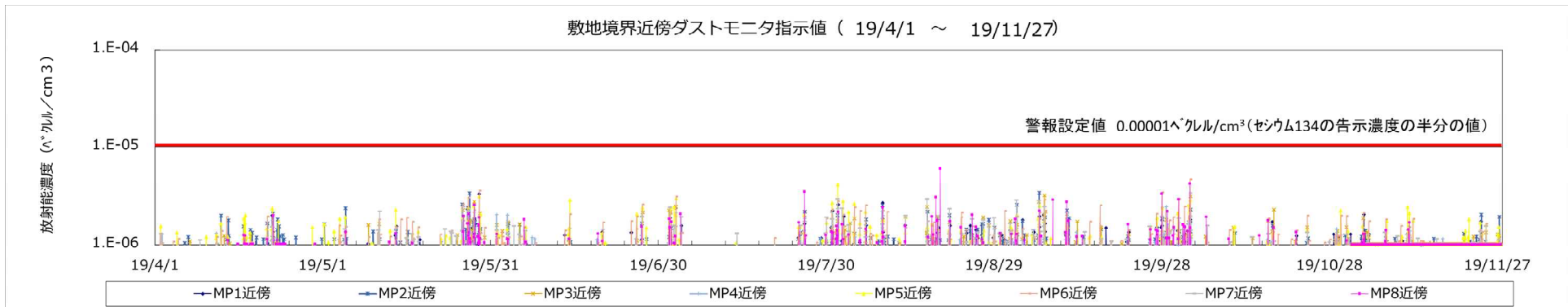
5. スケジュール

- 作業継続に向けてPCV近傍のダスト濃度の監視を充実させるため、PCVヘッド近傍に作業監視用DM②を11月7日に追加で設置（新設）した。
- また、データ拡充のため、11月25日から11月28日までAWJ作業を実施。その結果を踏まえ、周辺環境に影響を与えない範囲で切削時間の適正化を実施していく予定。
- これらの検討と並行して、ダスト低減策についても検討を進める計画。

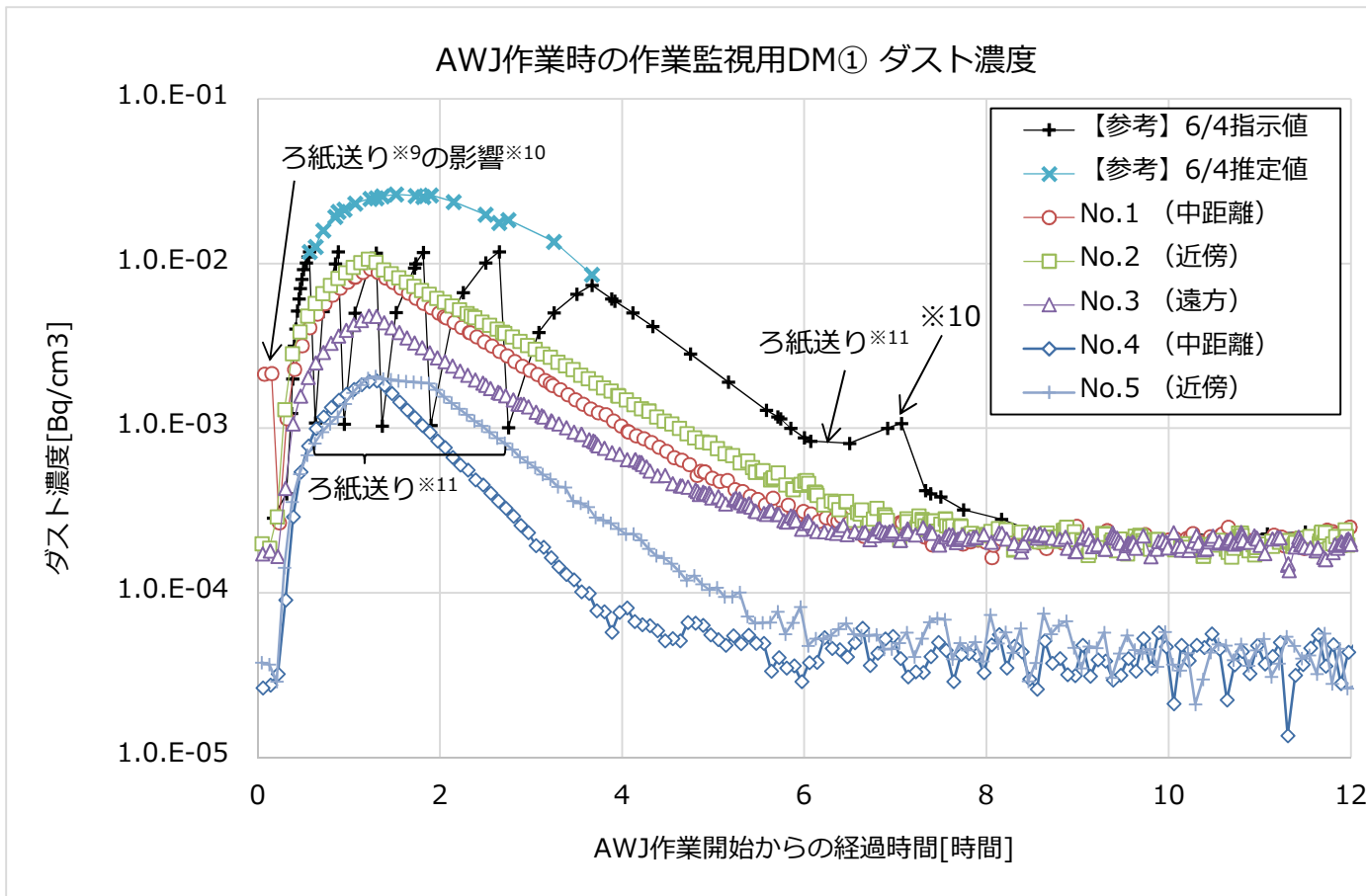
| 作業項目 | | 2019年度 | | | |
|-------------------|-------------|--|---------------------|-----|--------|
| | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月～ |
| 準備作業 | | PCV近傍のダストモニタ設置 バックグラウンド測定 データ評価・作業計画検討 | | | |
| PCV減圧操作 | | | 減圧操作 | | 圧力復帰操作 |
| アクセス ルート構築 | 孔あけおよび干渉物切断 | | X-2内扉孔あけ及びPCV内干渉物切断 | | |
| | ガイドパイプ設置 | | | | |
| PCV内部調査 (準備含む) | | | | | |

(注) 各作業の実施時期については計画であり、現場作業の進捗状況によって時期は変更の可能性あり

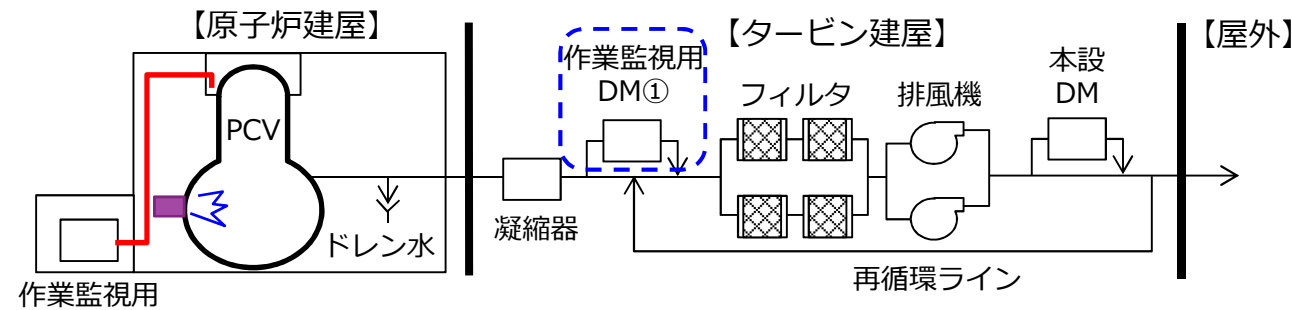
(参考) 周辺環境への影響



(参考) データ拡充作業の結果 (ダスト濃度変化)

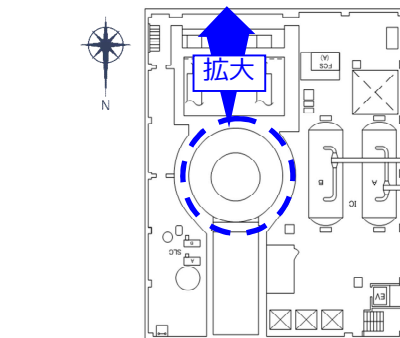
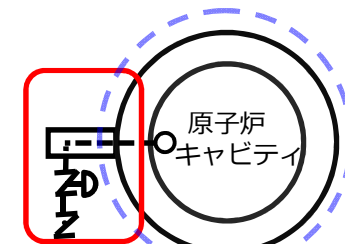
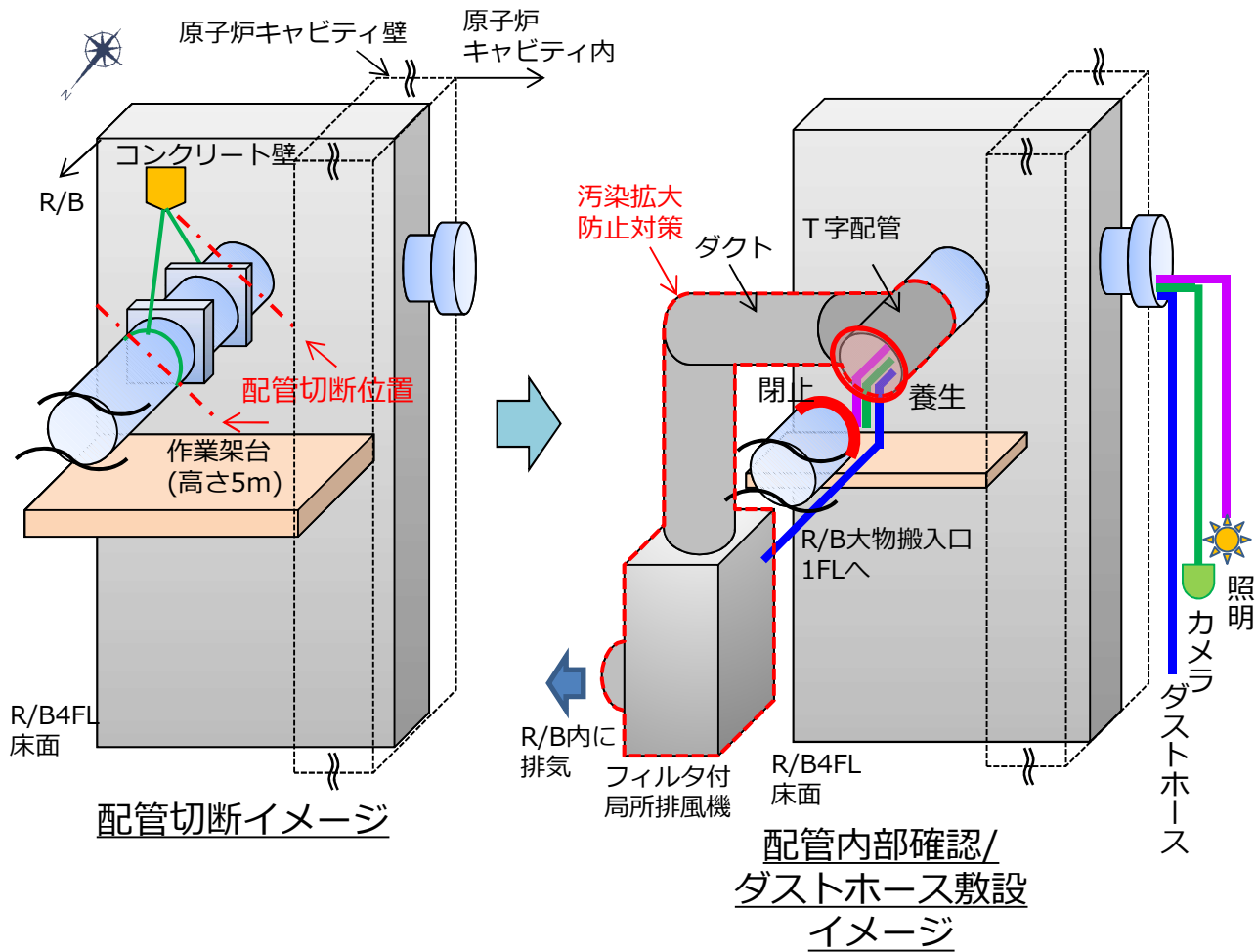


※9：ろ紙送りの理由：DMリセット操作を行ったことにより、ろ紙送りが発生
 ※10：濃度上昇の理由：モニタ内部の汚染分だけ上昇
 ※11：ろ紙送りの理由：ろ紙上の放射能濃度が高くなることで検出器が応答しきれず、ダスト濃度を過小評価することを未然に防ぐためにろ紙送りが自動動作（測定値の信頼性保護機能）

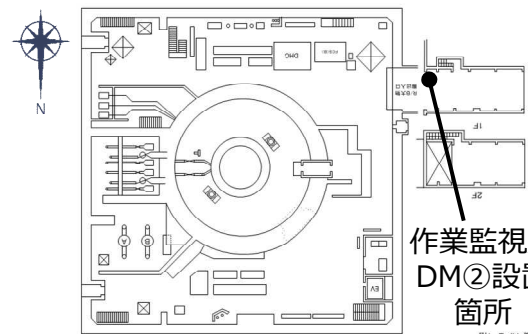


(参考) PCVヘッド近傍の作業監視用DM②の設置作業概要

- 原子炉キャビティ差圧調整配管の切断（弁の上流/下流側）を実施。
- 配管内部確認を行い，ダストホース他の敷設を実施。

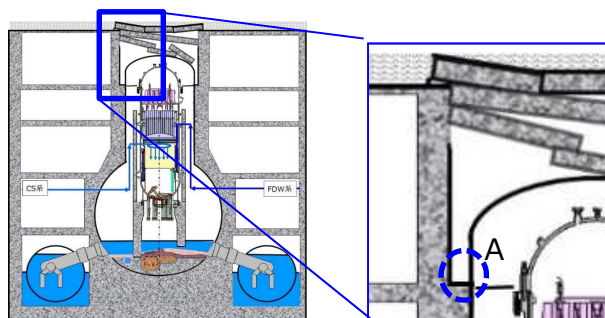


ダストホース敷設箇所
(原子炉建屋4階)

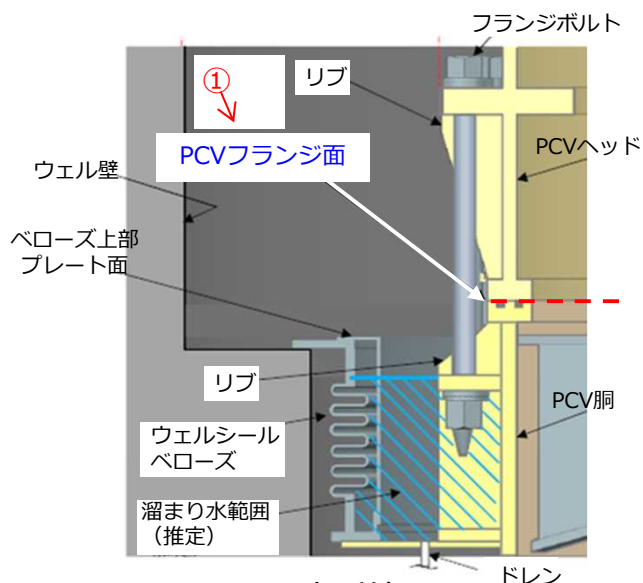


作業監視用DM②設置箇所
(原子炉建屋1階)

(参考) ダストホース設置状況



撮影方向

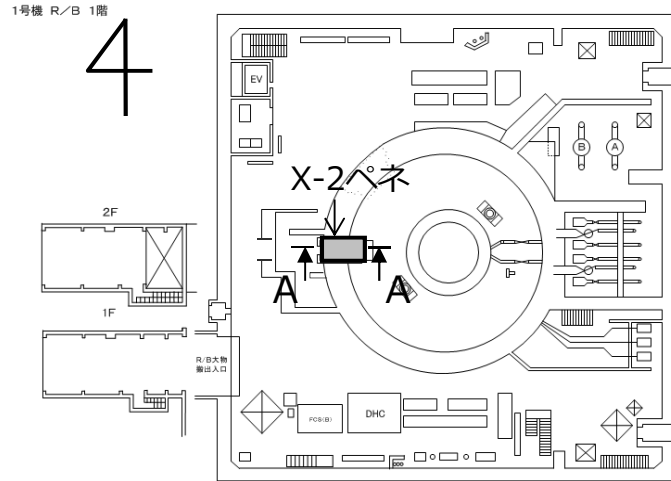


A部詳細

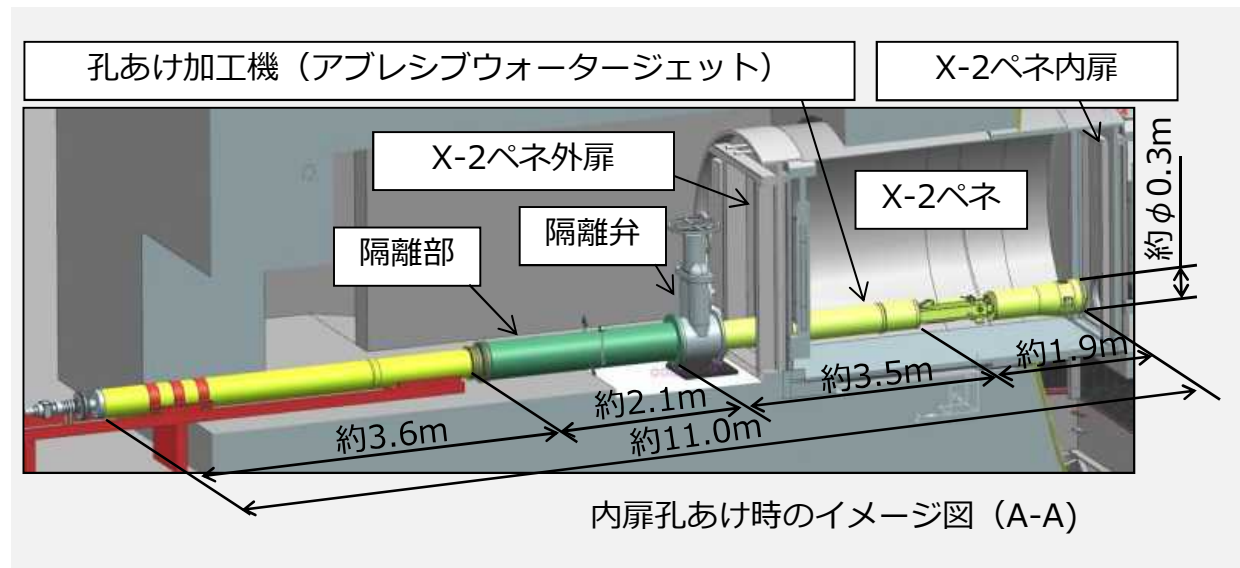
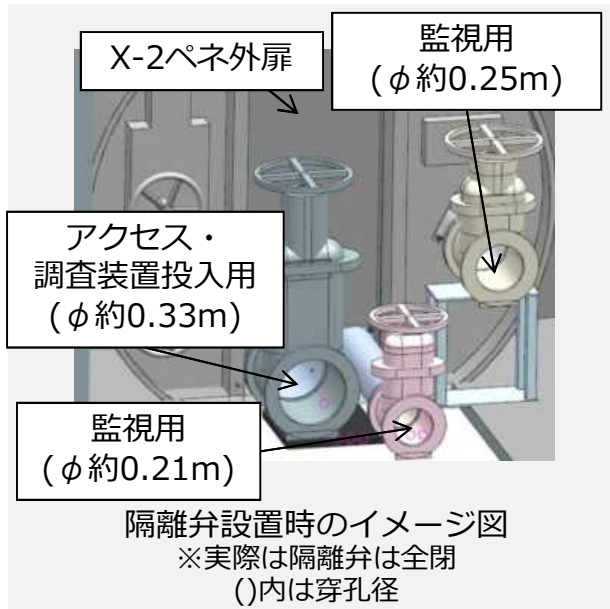
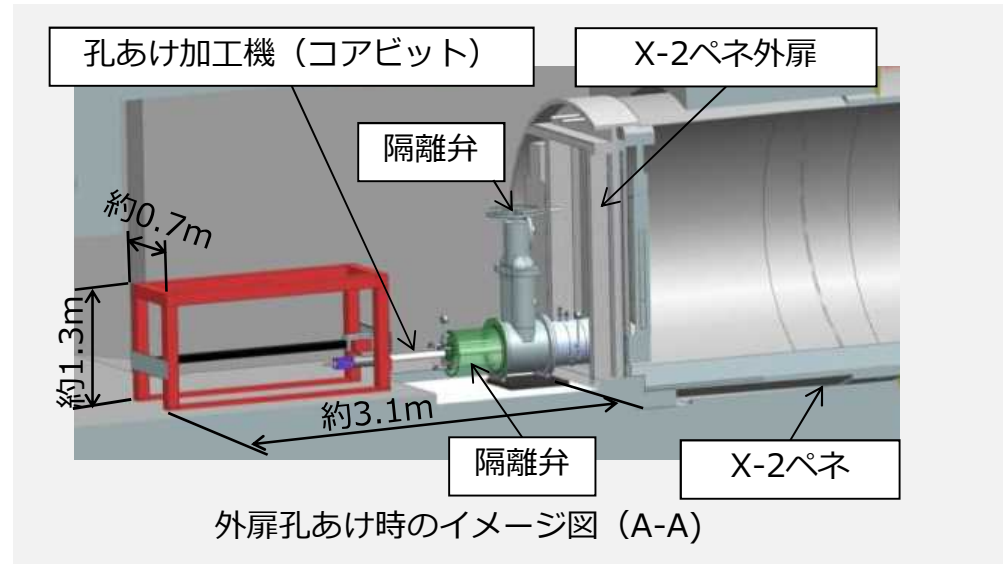


①ダストホース設置状況

(参考) アクセスルート構築に使用する機器



1号機原子炉建屋1階におけるX-2ペネの位置



循環注水冷却スケジュール (1/2)

| 分野名 | 活り | 作業内容 | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | | 10月 | | | 11月 | | | 12月 | | | 1月 | | 2月 | | 備考 |
|-----------|-------|--|---|--|--|--|----|-----|---|----|-----|---|---|----|---|----|--|----|
| | | | 27 | 3 | 10 | 17 | 24 | 1 | 8 | 15 | 下 | 上 | 中 | 下 | 前 | 後 | | |
| 循環注水冷却 | 原子炉関連 | <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【共通】循環注水冷却中(継続) <p>・【1号】燃料デブリ冷却状況の確認試験の実施について 1号機 FDW系のみによる注水へ切替 2019/10/11~2019/10/31 1号機 注水停止試験 2019/10/15~2019/10/31</p> <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【共通】高台炉注水系統による注水 2020/1/1/上旬~2/1/上旬 【2号】CST循環運転 2020/1/中旬 【2号】復水貯蔵タンク(CST)運用開始 2020/2/1/上旬~ | <p>【1, 2, 3号】循環注水冷却(滞留水の再利用)</p> <p>1号機 FDW系のみによる注水へ切替</p> <p>1号機 注水停止試験</p> <p>略語の意味 CS: 炉心スプレイ CST: 復水貯蔵タンク PCV: 原子炉格納容器 SFP: 使用済燃料プール</p> | <p>原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作業等に必要な条件に合わせて、原子炉注水流量の調整を実施</p> | <p>【共通】高台炉注水系統による注水</p> <p>【2号】CST循環運転</p> <p>【2号】CST切替</p> <p>実施時期調整中</p> | | | | | | | | | | | | | |
| | | 海水腐食及び塩分除去対策 | <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> CST窒素注入による注水溶存酸素低減(継続) ヒドラジン注入中(2013/8/29~) | <p>CST窒素注入による注水溶存酸素低減</p> <p>ヒドラジン注入中</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器関連 | 窒素充填 | <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1号】サプレッションチャンバへの窒素封入 - 連続窒素封入へ移行(2013/9/9~)(継続) 【2, 3号】窒素封入ライン設置に伴う、RPV通気確認及び検査 【3号】2019/11/6~8 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【共通】非常用窒素ガス分離装置点検に伴う停止 2019/12/3~5 【共通】窒素ガス分離装置AB取替他工事 2019/1/28~2020/2/7 新設窒素ガス発生装置への切替 2019/12/10 【1~3号】窒素封入ライン設置に伴う、窒素封入ラインPCV試験/検査 【1号試験】 2019/12/12・13 【2号試験】 2019/12/17 【3号試験】 2019/12/16 【1~3号総合通気検査】 2019/12/20 | <p>【1, 2, 3号】原子炉圧力容器 原子炉格納容器 窒素封入中</p> <p>【1号】サプレッションチャンバへの窒素封入</p> <p>【3号】試験・検査</p> <p>【共通】窒素ガス分離装置AB取替他工事</p> | <p>本体他点検</p> <p>追加</p> <p>最新工程反映</p> <p>切替</p> <p>【1号】試験</p> <p>【2号】試験</p> <p>【3号】試験</p> <p>【1~3号】総合通気検査</p> <p>最新工程反映</p> | <p>窒素ガス分離装置AB取替他工事 実施計画変更認可申請(2017/10/6) →認可(2018/7/31)</p> | | | | | | | | | | | | | |
| | | PCVガス管理 | <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1号】PCVガス管理システムダストサンプリング ・希ガスモニタ停止 A系: 2019/11/5 ・水素モニタ停止 A系: 2019/11/5 【1号】PCVガス管理システム希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2019/11/12 ・希ガスモニタ停止 B系: 2019/11/13 【1号】PCVガス管理システム水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 B系: 2019/11/21 <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1号】1号機PCV内部調査アクセスルート構築作業 ・PCV減圧: 2019/11/19~ ・希ガスモニタ停止 B系: 2019/11/25~29 ・水素ガスモニタ停止 B系: 2019/11/25~29 【1号】PCVガス管理システムダストサンプリング ・希ガスモニタ、水素モニタ停止 A系: 2019/12/9 【1号】PCVガス管理システム水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 A系: 2019/12/12 【2号】PCVガス管理システム希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2019/12/2 ・希ガスモニタ停止 B系: 2019/12/3 【3号】PCVガス管理システム希ガスモニタ点検 ・希ガスモニタ停止 A系: 2019/12/2 ・希ガスモニタ停止 B系: 2019/12/3 | <p>【1, 2, 3号】継続運転中</p> <p>【1号】希ガス・水素モニタA停止</p> <p>【1号】希ガスモニタA停止 【1号】希ガスモニタB停止</p> <p>【1号】水素モニタB停止</p> <p>【1号】PCV減圧</p> <p>【1号】希ガス・水素モニタB停止</p> <p>【1号】希ガス・水素モニタA停止</p> <p>【1号】水素モニタA停止</p> <p>【2号】希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタB停止</p> <p>【3号】希ガスモニタA停止 【3号】希ガスモニタB停止</p> | <p>実績反映</p> <p>最新工程反映</p> <p>追加</p> <p>最新工程反映</p> <p>追加</p> | <p>1号機PCV内部調査アクセスルート構築作業に伴うPCVガス管理システムダストサンプリングのため、各日1時間程度の停止を予定</p> | | | | | | | | | | | | |

循環注水冷却スケジュール (2/2)

| 分野名 | 活り | 作業内容 | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | 10月 | 11月 | | | | | 12月 | | | | 1月 | 2月 | 備考 | | |
|------------|----|-----------------------------------|--|------------|--|----|----|----|---|-----|----|---|---|----|----|----|---|---|
| | | | | 27 | 3 | 10 | 17 | 24 | 1 | 8 | 15 | 下 | 上 | 中 | 下 | | 最 | 末 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール関連 | | 使用済燃料プール循環冷却 | (実 績) ・【共通】循環冷却中(継続) | 現場作業 | 【1, 2, 3号】循環冷却中 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 使用済燃料プールへの注水冷却 | (実 績) ・【共通】使用済燃料プールへの非常時注水手段として コンクリートポンプ車等の現場配備(継続) | 現場作業 | 【1, 2, 3号】蒸発量に応じて、内部注水を実施 【1, 3号】コンクリートポンプ車等の現場配備 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 海水腐食及び塩分除去対策 (使用済燃料プール薬注&塩分除去) | (実 績) ・【共通】プール水質管理中(継続) | 検討・設計・現場作業 | 【1, 2, 3, 4号】ヒドラジン等注入による防 【1, 2, 3, 4号】プール水質管理 | | | | | | | | | | | | | |

使用済燃料プール対策 スケジュール

| 分野名 | 括り | 作業内容 | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | 10月 | | | | 11月 | | | | 12月 | | | | 1月 | | 2月 | | 備考 |
|------|---|---------------------------|--|-------|--------------------------------------|----------------|-------------|----------|-------------------|-------|----|-----|---|---|---|----|---|----|--|----|
| | | | | 27 | 3 | 10 | 17 | 24 | 1 | 8 | 15 | 下 | 上 | 中 | 下 | 前 | 後 | | | |
| カバ | 燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事 | 1号機 2号機 3号機 | (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・ガレキ撤去 ・SFP周辺小ガレキ撤去 ・ウェルフラグ調査 ・SFP内干渉物等調査 ・オペフロ調査 ・ウェルフラグ上のH鋼撤去 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・ガレキ撤去 ・SFP周辺小ガレキ撤去 | 検討・設計 | 基本設計 | | | | | | | | | | | | | | 【主要工程】 ○ガレキ撤去 ・ガレキ撤去：'18/1/22～ ・Xブレース撤去：'18/9/19～'18/12/20 ・機器ハッチ養生：'19/1/11～'19/3/6 ・屋根鉄骨分断：'19/2/5～'19/2/22 ・SFP周辺小ガレキ撤去：'19/3/18～ ・ウェルフラグ調査：'19/7/17～'19/8/26 ・SFP内干渉物等調査：'19/8/2、'19/9/4～6 9/20、27 ・ウェルフラグ上のH鋼撤去：'19/8/28 【規制庁関連】 ・オペレーティングフロア床上ガレキの一部撤去等 実施計画変更認可 (2019/3/1) ※○番号は、別紙配置図と対応 | |
| | | | | 現場作業 | ①現地調査等 ('13/7/25～) | ②作業ヤード整備等 | ③ガレキ撤去 | 北側屋根鉄骨切断 | ④SFP周辺小ガレキ撤去 (南側) | 現場工程反 | | | | | | | | | | |
| | | | | 検討・設計 | 基本検討 | | | | | | | | | | | | | | | |
| カバ | 燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事 | 2号機 3号機 | (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討(SFP養生 ・オペフロ残置物撤去方法の検討含む) ・現地調査等 ・オペレーティングフロア 残置物移動・片付け(その2) (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・オペレーティングフロア 残置物移動・片付け(その3) | 検討・設計 | ⑤現地調査等 | | | | | | | | | | | | | | 【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：継続検討 ・ヤード整備工事：'15/3/11～'16/11/30 ・西側構台設置工事：'16/9/28～'17/2/18 ・前室設置工事：'17/3/3～'17/5/16 ・屋根保護層撤去(遠隔重機作業)：'18/1/22～'18/5/11 ・オペレーティングフロア西側外壁開口：'18/4/16～'18/6/21 ・鉄骨トラス状況確認：'18/2/28～'18/3/17 ・オペレーティングフロア調査：'18/6/25～'18/7/18 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け：'18/8/23～'18/11/6 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査と 片付け：'18/11/14～'19/2/28 ・西側構台設備点検：'19/2/13～'19/3/26 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その2)：'19/3/25～'19/8/27 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その3)：'19/9/10～ 【規制庁関連】 ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可(2017/12/21) ※○番号は、別紙配置図と対応 | |
| | | | | 現場作業 | ⑥オペレーティングフロア残置物移動・片付 残置物移動片付(その3) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 検討・設計 | 基本検討 | | | | | | | | | | | | | | | |
| カバ | 燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事 | 3号機 | (実績) ・ (予定) ・ | 検討・設計 | | | | | | | | | | | | | | | 【主要工程】 ・竣工(建築工事)'18/10/31 ・竣工(機械工事)'19/7/22 | |
| | | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 検討・設計 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 周辺環境 | 1/2号機共用排気筒解体 海洋汚染防止対策等 | 1/2号機 3号機 | (実績) ・排気筒解体工事 (予定) ・排気筒解体工事 | 検討・設計 | 解体工事 | | | | | | | | | | | | | | 【主要工程】 ・実証試験：'18/8/28～'19/4/2 ・準備工事：'18/12/3～'19/7/31 ・排気筒事前調査：'19/4/2～'19/4/18 ・排気筒解体工事：'19/8/1～ 【規制庁関連】 ・1/2号機排気筒解体 実施計画変更認可('19/2/27) | |
| | | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 周辺環境 | 1/2号機共用排気筒解体 海洋汚染防止対策等 | 1/2号機 3号機 | (実績) ・詳細設計 ・準備工事(作業ヤード整備等) ・ガレキ撤去等(タービン建屋) (予定) ・詳細設計 ・ガレキ撤去等(原子炉建屋下屋) | 検討・設計 | 詳細設計 | | | | | | | | | | | | | | 【主要工程】 ・2号機周辺建屋屋根面の雨水対策工事を設計中 ・準備工事(作業ヤード整備等)：'18/10/18～'19/3/24 ・2号機T/B下屋ガレキ等撤去：'19/3/25～'19/10/31 ・2号機R/B下屋ガレキ等撤去：'19/11/1～'20/2/下 ・2号機Rw/B床面清掃・排水ルート切替：'19/12/中～ | |
| | | | | 現場作業 | 2号機T/B下屋ガレキ等撤去 | 2号機R/B下屋ガレキ等撤去 | 2号機Rw/B床面清掃 | | | | | | | | | | | | | |

使用済燃料プール対策 スケジュール

| 分野名 | 括り | 作業内容 | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | 10月 | | | | | 11月 | | | | | 12月 | | | | 1月 | | 2月 | 備考 |
|------------|--|--|---|-------------------------|------|----|----|---------------|-----|---|----|---|----------------------|-----|---|---|--------------------------------|----|--|---|--|
| | | | | 27 | 3 | 10 | 17 | 24 | 1 | 8 | 15 | 下 | 上 | 中 | 下 | 前 | 後 | | | | |
| 使用済燃料プール対策 | 燃料取扱設備 | クレーン/燃料取扱機的设计・製作 プール内ガレキの撤去、燃料調査等 | 1号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 | 検討・設計 | 基本検討 | | | | | | | | | | | | | | | → | 【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討 |
| | | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 2号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 | 検討・設計 | 基本検討 | | | | | | | | | | | | | | | → | 【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：継続検討 |
| 3号機 | (実績) ・クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討 ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し ・燃料取扱設備点検 ・マニピュレータ/マスト不具合対応 (予定) ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し(工程調整中) | 検討・設計 | クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討 | | | | | | | | | | | | | | | → | 【主要工程】 ○クレーン/燃料取扱機等設置点検： ・燃料取扱設備点検：'19/7/24~'19/9/2 ○燃料取り出しおよびガレキ撤去作業： ・訓練、ガレキ撤去：'19/3/15~ ・燃料取り出し：'19/4/15~ 【規制庁関連】 ・3号機燃料取り出し、燃料の取り扱い及び構内用輸送容器実施計画変更認可申請(2018/3/27) 実施計画変更認可申請の一部補正(2019/2/15) 実施計画変更認可申請の認可(2019/3/12) ・3号機プール内小ガレキ撤去、エリアモニタ、ダストモニタ実施計画変更認可申請の一部補正(2018/4/13)、認可(6/8) ・3号機損傷・変形等燃料用輸送容器実施計画変更認可申請(2019/8/20) | | |
| | | 現場作業 | ⑦燃料取り出しおよびガレキ撤去作業 | | | | | ガレキ撤去・燃料健全性確認 | | | | | 燃料取り出し → 工程調整中 | | | | マニピュレータ/マスト不具合対応 → 工程調整中 | | | | |
| 共用プール | 共用プール燃料取り出し | (実績) ・3号機燃料受け入れ (予定) ・3号機燃料受け入れ | 現場作業 | 3号機燃料受け入れ → 工程調整中 | | | | | | | | | | | | | | | → | 【主要工程】 ○共用プール設備点検： ・クレーン点検：'19/4/8~'19/4/15 ・燃料取扱機点検：'19/5/7~'19/6/18 【規制庁関連】 ・共用プール損傷・変形等燃料ラック実施計画変更認可申請(2019/7/11) | |

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

| 分野名 | 括り | 作業内容 | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | | 10月 | | 11月 | | | | 12月 | | | | 1月 | | 2月 | | 備考 |
|-------------|-----------------|---|--|---------------|-----|----------------------|----------------------|---|---|----|-----|---|---|---|----|---|----|--|----|
| | | | 27 | 3 | 10 | 17 | 24 | 1 | 8 | 15 | 下 | 上 | 中 | 下 | 部 | 後 | | | |
| 燃料デブリ取り出し準備 | 原子炉建屋内環境改善 | 共通 | (実績) なし (予定) なし | 検討・設計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 1号 | (実績) なし (予定) なし | 検討・設計 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2号 | (実績) なし (予定) なし | 検討・設計 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3号 | (実績) ○建屋内環境改善(継続) (予定) ○建屋内環境改善(継続) | 検討・設計 現場作業 | | | 建屋内環境改善 機器撤去 | | | | | | | | | | | | |
| 燃料デブリ取り出し準備 | 格納容器内水循環システムの構築 | 1号 | (実績) なし (予定) なし | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2号 | (実績) なし (予定) なし | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3号 | (実績) なし (予定) なし | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料デブリ取り出し | 燃料デブリの取り出し | 1号 | (実績) ○原子炉格納容器内部調査(継続) (予定) ○原子炉格納容器内部調査(継続) | 検討・設計 現場作業 | | | PCV内部調査 アクセスルート構築 | | | | | | | | | | | | |
| | | 2号 | (実績) なし (予定) なし | 検討・設計 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 3号 | (実績) なし (予定) なし | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 炉心状況把握 | 炉心状況把握 | (実績) ○事故関連factデータベースの更新(継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新(継続) | 検討・設計 現場作業 | | | 事故関連factデータベースの更新 | | | | | | | | | | | | | |
| | | (予定) ○事故関連factデータベースの更新(継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新(継続) | | | | 炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新 | | | | | | | | | | | | | |

実施時期調整中

汚染水対策スケジュール (1/2)

| 分野名 | 括り | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | 10月 | | | | | | | 11月 | | | | | | | 12月 | | | | | | | 1月 | | 2月 | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---------|--|---|--------------------|--|---|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|--|-----|--|---------------------|---|--|--|--|----|--|----|--|----|--|--|----|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|---|--|---|--|---|--|--|
| | | | 27 | | | | | | | 3 | | | | | | | 10 | | | | | | | 17 | | | | | | | 24 | | | | | | | 1 | | | | | | | 8 | | | | | | | 15 | | | | | | | 下 | | | | | | | 上 | | 中 | | 下 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中長期課題 | 汚染水対策分野 | 建屋滞留水処理 | (実績) 【1、2号機 滞留水移送装置設置】 【3、4号機 滞留水移送装置設置】 ・穿孔・地下障害物撤去 ・架台・配管・ポンプ設置 | 現場作業 | 【1、2号機】滞留水移送装置設置 | → | | | | | | | | | | | | | | 2019年6月13日 実施計画変更申請 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | (実績) 【1~4号機 建屋滞留水浄化設備】 ・【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中 | 現場作業 | 【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中 | → | | | | | | | | | | | | | | 2019年6月13日 実施計画変更申請 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 浄化設備 | 中長期課題 | 汚染水対策分野 | 【既設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・B系統) (B系統応急復旧による運転11/5~12月上旬) ・処理停止 (C系統) (予定) ・循環ポンプ不具合のため処理停止 (B系統7/2~11月上旬、12月上旬~1月中旬) ・定期点検のため処理停止 (A系統 1月中旬~3月、B系統 12月上旬~1月中旬、C系統 11/8~12/13) | 現場作業 | A系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) | → | | | | | | | | | | | | | | 定期点検のため処理停止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (予定) ・循環ポンプ不具合のため処理停止 (B系統7/2~11月上旬、12月上旬~1月中旬) ・定期点検のため処理停止 (A系統 1月中旬~3月、B系統 12月上旬~1月中旬、C系統 11/8~12/13) | 現場作業 | B系 循環ポンプ不具合のため処理停止 | → | | | | | | | | | | | | | | 定期点検のため処理停止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (実績・予定) ・処理運転 | 現場作業 | 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) | → | | | | | | | | | | | | | | 定期点検のため処理停止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・B系統) (予定) ・定期点検のため処理停止 (A系統 12/2~12月下旬、B系統 11/19~12/12、C系統 10/15~11/20) | 現場作業 | A系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) | → | | | | | | | | | | | | | | 定期点検のため処理停止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (予定) ・定期点検のため処理停止 (A系統 12/2~12月下旬、B系統 11/19~12/12、C系統 10/15~11/20) | 現場作業 | B系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) | → | | | | | | | | | | | | | | 定期点検のため処理停止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (予定) ・定期点検のため処理停止 (A系統 12/2~12月下旬、B系統 11/19~12/12、C系統 10/15~11/20) | 現場作業 | C系 処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) | → | | | | | | | | | | | | | | 定期点検のため処理停止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陸側遮水壁 | 中長期課題 | 汚染水対策分野 | 【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転 | 現場作業 | 処理運転 | → | | | | | | | | | | | | | | サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧方針検討 (予定) サブドレン設備復旧方針検討 | 検討・設計 | サブドレン設備復旧方法検討 | → | | | | | | | | | | | | | | 検討・設計工程追加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転 | 現場作業 | 処理運転 | → | | | | | | | | | | | | | | 2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実実施計画変更認可 (原規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実実施計画変更認可 (原規発第1709285号) 第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了 (H30、7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査修了証受領 (原規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H4エリアNo. 5タンクからの漏えい対策 | 中長期課題 | 汚染水対策分野 | (実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了 | 現場作業 | 維持管理運転 (北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了) | → | | | | | | | | | | | | | | 2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可 (原規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (原規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所4箇所の閉合: 原規発第1703023号) 2017年8月15日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所1箇所の閉合: 原規発第1708151号) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | (実績・予定) ・汚染の拡散状況把握 | 現場作業 | モニタリング | → | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

汚染水対策スケジュール (2/2)

| 分野名 | 括り | これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定 | 10月 | | | | 11月 | | | | 12月 | | | | 1月 | | 2月 | | 備考 |
|------------------|-----------|---|------|---|----|----|-----|---|---|----|-----|---|---|---|----|---|----|--|--|
| | | | 27 | 3 | 10 | 17 | 24 | 1 | 8 | 15 | 下 | 上 | 中 | 下 | 前 | 後 | | | |
| | | | 設計検討 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中長期課題 汚染水対策分野 | 処理水受タンク増設 | (実績・予定) ・追加設置検討(タンク配置) ・H4フランジタンクリプレース工事(堰構築) ・Bフランジタンクリプレース工事(タンク基礎新設、堰構築) ・H5フランジタンクリプレース工事(タンク基礎新設、堰構築) ・H6フランジタンクリプレース工事(地盤改良、タンク基礎新設、堰構築) ・H3フランジタンクリプレース工事(堰構築) ・H5エリアタンク設置 ・H6(II)エリアタンク設置 ・G6フランジタンクリプレース工事 ・G6エリアタンク設置 ・G4南フランジタンクリプレース工事(タンク解体) ・Eフランジタンクリプレース工事(タンク解体準備) ・G1横置きタンクリプレース工事(タンク基礎新設) ・G1エリアタンク設置 | 設計検討 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2015年12月14日 H4エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1512148号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2016年12月8日 Bエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2016年12月8日 H5エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2018年2月14日 H5北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第18021415号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2016年12月8日 H6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2018年2月14日 H6北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第18021415号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2016年12月8日 H3エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1812083号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | *最終検査 2018年5月31日 H5エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1805317号) H5エリア 1,200m3(32基) ・H5使用前検査済み(32/32基) ・最終検査2020年1月中旬予定 |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | *最終検査 2018年8月23日 H3, H6(II)エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1808234号) H6(II) 1,356m3(24基) ・H6(II)使用前検査済み(24/24基) ・最終検査2020年1月中旬予定 |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2017年10月30日 実施計画変更認可 |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | *最終検査 2019年2月25日 G6エリアタンク設置について実施計画認可 G6エリア 1330m3(38基) G6使用前検査済み(38/38基) ・最終検査2020年1月中旬予定 |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1807053号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1809102号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可(原規規発第1710171号) |
| | | | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 2019年8月2日 G1, G4南エリアタンク設置について実施計画認可(原規規発第1908024号) G1エリア 1356m3(66基) G1使用前検査済み(7/66基) |
| | | (予定・実績) ・地下水移送(1-2号取水口間) (2-3号取水口間)(3-4号取水口間) (実績) <3号機T/B屋根> ・11/19 ヤード整備開始 | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 4号機海側: 2017年10月完了 3号機海側: ~2018年7月12日完了 1, 2号機海側ヤード: 2018年8月~2019年1月 その他海側エリア: 2019年3月~2020年3月 3号T/B屋根対策ヤード整備: 2018年11月~2019年7月 |
| | | ○千島海溝津波対策 ・防潮堤設置 (実績・予定) 既設設備撤去・移設、造成嵩上げ、L型擁壁設置 | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 工事開始(2019年7月29日) L型擁壁の据え付け開始(2019年9月23日) 防潮堤設置2020年度上期完了予定 |
| | | ○3.11津波対策 ・建屋開口部閉止 (実績) 閉止箇所数 77箇所/122箇所(11月18日時点) (予定) 外部開口閉塞作業 継続実施 | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 【区分①②】1~3T/B等2019年3月, 全67箇所完了 【区分③】2, 3R/B外部のハッチ等 (2019年3月~2020年9月, 9箇所/20箇所完了) 【区分④】1~3R/B等 (2019年9月~2020年12月, 1箇所/14箇所完了) 【区分⑤】1~4Rw/B, 4R/B, 4T/B (2020年~2022年3月) |
| | | ○3.11津波対策 ・メガフロート移設 (実績) 船底マウンド造成約80%、バラスト水処理約60% 内部除染作業約50%(11月18日時点) (予定) 船底マウンド造成・バラスト水処理・内部除染 継続実施 | 現場作業 | | | | | | | | | | | | | | | | 船底マウンド造成開始(2019年5月20日) バラスト水処理開始(2019年5月28日) 内部除染開始(2019年7月16日) |

水処理設備の運転状況, 運転計画
(2019年11月22日～2019年12月5日)

2019年11月29日
東京電力ホールディングス株式会社

多核種除去設備

| | 22(金) | 23(土) | 24(日) | 25(月) | 26(火) | 27(水) | 28(木) | 29(金) | 30(土) | 12/1(日) | 2(月) | 3(火) | 4(水) | 5(木) |
|---|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------|------|------|------|
| A | ←————→ | | | | 停止 | | | | | | | | | |
| B | ←————→ | | | | | | | | | | | 停止 | | |
| C | 停止 | | | | | | | | | | | | ←→ | |

増設多核種除去設備

| | 22(金) | 23(土) | 24(日) | 25(月) | 26(火) | 27(水) | 28(木) | 29(金) | 30(土) | 12/1(日) | 2(月) | 3(火) | 4(水) | 5(木) |
|---|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------|------|------|------|
| A | ←————→ | | | | | | | 停止 | | | | | | |
| B | 停止 | | | | | | | | | | | | | |
| C | ←→ | 停止 | ←————→ | | | | | | | 停止 | | | | |

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

| | 22(金) | 23(土) | 24(日) | 25(月) | 26(火) | 27(水) | 28(木) | 29(金) | 30(土) | 12/1(日) | 2(月) | 3(火) | 4(水) | 5(木) |
|--------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|------|------|------|------|
| SARRY | 停止 | | | | | | | | | ←————→ | | | | |
| SARRY2 | ←————→ | | | | | | | | | | 停止 | | | |
| KURION | 停止 (滞留水の状況に応じて運転を計画, 実施) | | | | | | | | | | | | | |

※ 現場状況を踏まえて運転するため, 計画を変更する場合があります。

福島第一原子力発電所の滞留水の水位について
(2019年11月22日～2019年11月28日)

2019年11月29日
東京電力ホールディングス株式会社

| | 原子炉建屋水位 | | | | | タービン建屋水位 | | | | 廃棄物処理建屋水位 | | | | 集中廃棄物処理施設水位 | | |
|--------|---------|------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------------|-------------|--------------|
| | 1号機 | 2号機 | 3号機 | | 4号機 | 1号機 | 2号機 | 3号機 | 4号機 | 1号機 | 2号機 | 3号機 | 4号機 | プロセス 主建屋 | 高温焼却炉 建屋 | サイトバンカ 建屋 |
| | | | ホップエリア | 南東エリア | | | | | | | | | | | | |
| 11月22日 | -1348 | -942 | -1380 | -2285 | -1662 | — | -1297 | -1255 | -1142 | — | -1332 | -1295 | -1220 | 2572 | 319 | — |
| 11月23日 | -1350 | -913 | -1426 | -2098 | -1663 | — | -1322 | -1258 | -1226 | — | -1329 | -1289 | -1248 | 2699 | 320 | — |
| 11月24日 | -1356 | -883 | -1450 | -2287 | -1662 | — | -1321 | -1232 | -1288 | — | -1321 | -1280 | -1263 | 2722 | 319 | — |
| 11月25日 | -1350 | -844 | -1370 | -2086 | -1661 | — | -1328 | -1260 | -1280 | — | -1297 | -1282 | -1274 | 2763 | 319 | — |
| 11月26日 | -1356 | -843 | -1370 | -2243 | -1662 | — | -1295 | -1245 | -1305 | — | -1322 | -1296 | -1286 | 2803 | 318 | — |
| 11月27日 | -1355 | -846 | -1373 | -2070 | -1662 | — | -1301 | -1258 | -1296 | — | -1309 | -1295 | -1298 | 2845 | 319 | — |
| 11月28日 | -1338 | -923 | -1363 | -2249 | -1662 | — | -1321 | -1250 | -1289 | — | -1331 | -1294 | -1310 | 2856 | 351 | — |

備考欄

※ T.P.表記(単位:mm)

※ 5時時点の水位

※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)

※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)

※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)

※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)

※ 各建屋最下階床面高さ 1号機原子炉建屋 T.P.-2666、2号機及び3号機及び4号機原子炉建屋 T.P.-4796
 1号機タービン建屋 T.P.443、2号機タービン建屋 T.P.-1752、3号機タービン建屋 T.P.-1737、4号機タービン建屋 T.P.-1739
 1号機廃棄物処理建屋 T.P.-36、2号機及び3号機及び4号機廃棄物処理建屋 T.P.-1736
 プロセス主建屋 T.P.-2736、高温焼却炉建屋 T.P.-2236

各エリア別タンク一覧

東京電力ホールディングス株式会社

1~4号機用汚染水貯蔵タンク

タンク基数、水位、貯蔵量、実容量集約日 平成31年11月21日

Table with columns: 種別, 基数, 1基あたり容量(公称), タンク型, 貯蔵水, H水位, H容量/基, 0%以下貯蔵量, 0%以上貯蔵量, 実容量, 水位管理, 放射能濃度, 測定時期, 稼働使用開始時期. Rows include various tank types like C, G3東, G3西, G3北, G4南, G4北, G5, G6, G7, G1南, G1, H1, H1東, H2, H4北, H4南, H6(I), H6(II), H5, H3, B, B南, H8北, H8南, H9, H9西, J1, J2, J3, J4, J5, J6, J7, J8, J9, K1北, K1南, K2, K3, K4, and 多核種除去設備.

赤字はアウトオブサービス済の基数 ※実容量には、タンク底部から水位計0%の水量(DS分)を含みません。

※1 濃縮塩水/Sr処理水等を貯留した実績あり(G3西及びJ1の一部) ※2 基数増(先月報告比) G1: +7, H6(II): +2 ※3 再利用に伴う見直し D: -12(Sr処理水等), +12(RO処理水(淡水)), G3北: -6(Sr処理水等), +6(多核種除去設備処理済水) ※4 現場の状況に合わせて見直しを実施

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.11.21時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

| No. | 箇所 | 対象 | 場所 | 量(m ³) | 放射性物質濃度[Bq/L] | 備考 | |
|-----|--------------------------|--|-----------------------|--|---|--------------------------------|--|
| 1-1 | 2号機大物搬入口屋上 | ・2号機大物搬入口屋上 | 建屋エリアに存在する建屋 | 降雨量により変動 | 【2階】 Cs134:<1.0E1 Cs137:2.1E1 全β:2.6E1 H3:1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134:1.1E1 Cs137:4.0E1 全β:4.1E1 H3:1.1E2 (2015.11.2) | | |
| 1-2 | 2号機R/B | 2号機R/B | 建屋エリアに存在する建屋 | 降雨量により変動 | 【上屋】 Cs134:200~340 Cs137:650~1100 全β:920~1900 Sr90:10~20 H3:ND(<100) (2015.1.16) | | |
| 2 | 5.6号機貯留タンク(フランジタンク) | ・5.6号機貯留タンク(フランジタンク) | 6号機北側 | 約9,300 (2019.7時点) | Cs134:3.1E0 Cs137:4.4E1 (2019.10.11) | 3.8E0 5.6E1 (2019.11.12) | 5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留 (5・6号機建屋滞留水処理設備として運用中のため、量は変動する) |
| 3 | 5.6号機貯留タンク(溶接タンク) | ・5.6号機貯留タンク(溶接タンク) | 6号機北側 | 約5000 (2015.4.16時点) | Cs134:7.7E0 Cs137:4.3E1 (2016.10.3) | | 5・6号建屋滞留水を貯留 |
| 4-1 | 吸着塔一時保管施設(HIC) | ・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設) | ・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設) | 0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み、HIC内上澄み水水抜き実施済み) (2018.9) | — | ※水抜き済のため、水抜き前分析結果の記載削除 | 水抜き済 |
| 4-2 | 吸着塔一時保管施設 | 水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置) | 吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設) | 1程度(1基あたり) | Cs137:2.0E3~1.6E7 Sr90:5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3) | | |
| 5 | No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク) | ・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク) | 屋外(タンクエリア) | 0 (2015年8月水抜き完了) | — | ※水抜き済のため、水抜き前分析結果の記載削除 | 過去、RO濃縮水を貯留 現在は水抜き済 |
| 6 | 4000tノッチタンク(角型タンク) | ・4000tノッチタンク | タンクエリア | 0 (2018.5.7時点) | 【3000tノッチタンク】 撤去済 【1000tノッチタンク】 水抜き済 | | 水抜き済 |
| 7 | 濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水) | 蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水) | タンクエリア(Cエリア) | 約65※1 (2019.2.1時点) | 【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs134:1.7E4 Cs137:2.5E4 全β:4.7E8 (2011.12.20) | | 蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1:全5タンクの水量を 実測して算出 |
| 8 | 淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク) | ・淡水貯留タンク(横置きタンク) | タンクエリア | — (2017.8時点) | — | | 撤去済 |
| 9 | 5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット | ・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット | 5号機スクリーン近傍 | 約550 | (2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.4E0 | | |
| | | ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット | 6号機スクリーン近傍 | 約850 | (2016.10.5) Cs134:ND Cs137:3.7E0 | | |
| | | ・5号機逆洗弁ピット | 5号タービン建屋海側 | 約1,500 | (2016.10.3) Cs134:3.0E0 Cs137:1.9E1 | | |
| | | ・6号機逆洗弁ピット | 6号タービン建屋海側 | 約1,500 | (2016.10.3) Cs134:1.5E0 Cs137:1.1E1 | | |
| 10 | 1~4号機T/B貯留 | ・1号機T/B | 建屋エリアに存在する建屋 | 降雨量により変動 | 【1号機T/B上屋】 Cs134:1.4E1 Cs137:2.5E2 全β:2.9E2 (2018.4.25) | | |

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.11.21時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

| No. | 箇所 | 対象 | 場所 | 量(m³) | 放射性物質濃度[Bq/L] | 備考 |
|-----|---------------------|----------------------|--------------|----------------------|---|--|
| 10 | 1号機T/B上屋 | ・2号機T/B | 建屋エリアに存在する建屋 | 降雨量により変動 | 【2号機T/B上屋】 Cs134:4.4E0 Cs137:4.8E1 全β:5.9E1 (2018.4.25) | |
| 11 | 1号CSTタンク (溶接タンク) | ・1号CSTタンク (溶接タンク) | 屋外(建屋エリア) | 約740 (2016.10.26) | Cs134:2.9E+4 Cs137:1.9E+5 全β:2.2E+5 (2016.11.7) | RO処理水を貯留 |
| 12 | 2号CSTタンク (溶接タンク) | ・2号CSTタンク (溶接タンク) | 屋外(建屋エリア) | 約1990 (2019.1.28) | Cs134:1.6E+02 Cs137:1.7E+03 (2018.12.14) 全β:1.5E+03 (2018.12.19) | 過去、T/B地下の滞留水を貯留 現在はRO処理水を貯留 (炉注ポンプ水源として使用するための準備中) |
| 13 | 3号CSTタンク (溶接タンク) | ・3号CSTタンク (溶接タンク) | 屋外(建屋エリア) | 約2130 (2019.7.16) | 【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2019.7.2) (2019.8.7) H3:1.0E6 9.8E5 Sr90:ND ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3 | RO処理水を貯留 (1~3号機CST炉注ポンプ水源として運用中のため、量は変動する) |
| 14 | 4号CSTタンク (溶接タンク) | 4号CSTタンク (溶接タンク) | 屋外(建屋エリア) | 0 | — *水抜き済のため、水抜き前分析結果の記載削除 | 水抜き済 |
| 15 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 1 | タンクエリア | — | 【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:1.3E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β:4.3E4 (2019.10.8) H3: ND (2019.9.4) | 水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点) |
| 16 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 2 | タンクエリア | — | 【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:3.1E6 (2018.9.12) (参考:漏えい検知孔水) 全β:1.2E4 (2019.10.9) H3: ND (2019.9.4) | 水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点) |
| 17 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 3 | タンクエリア | — | 【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:3.2E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β:3.7E4 (2019.10.11) H3: ND (2019.9.5) | 水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点) |
| 18 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 4 | タンクエリア | — | 【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β:2.8E4 (2018.9.12) | 水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点) |
| 19 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 5 | タンクエリア | 撤去完了 | 【使用実績なし(水張試験のみ)】 — | 撤去済 |
| 20 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 6 | タンクエリア | — | 【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:7.8E6 (2018.9.11) (参考:漏えい検知孔水) 全β:4.5E1 (2019.9.5) H3: ND (2019.9.5) | 水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点) |
| 21 | 地下貯水槽 | 地下貯水槽No. 7 | タンクエリア | — | 【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β:1.5E2 (2018.9.12) | 水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点) |

汚染水等構内溜まり水の状況 (2019.11.21時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

| No. | 箇所 | 対象 | 場所 | 量(m ³) | 放射性物質濃度[Bq/L] | 備考 |
|------|---------------------------------|--|--------------|---|---|---|
| 22 | 1-4号建屋接続トレンチ | ・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等 | 1~4号機周辺 | 約1~400 (2019.5) | Cs134:2.7E0~5.8E2 Cs137:3.4E1~7.6E3 全β: 4.9E1~6.6E3 H3: ND~4.1E4 (2018.11~2019.1) | 集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(凍土壁外)の水抜き・充填完了(残水量:約400m ³) 量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照 |
| 23 | 2~4号機DG連絡ダクト | ・2~4号機DG連絡ダクト | 2~4号機山側 | 約1600 (2018.12.12) | Cs134:7.1E0 Cs137:7.1E1 全β: 7.6E1 H3: 6.2E2 (2019.5.24) | |
| 24-1 | 1号機海水配管トレンチ | ・1号機海水配管トレンチ | 1号機タービン建屋海側 | 約400 (2018.12.19時点) | Cs134:2.9E0 Cs137:4.5E1 全β: 5.6E1 (2018.12.18) | |
| 24-2 | 2号機海水配管トレンチ | ・2号機海水配管トレンチ | 2号機タービン建屋海側 | 0 (2019.8.2時点) | — *水抜き済のため、水抜き前分析結果の記載削除 | 水抜き・充填済(建屋接続部近傍を含む) |
| 25-1 | 3号機海水配管トレンチ | ・3号機海水配管トレンチ | 3号機タービン建屋海側 | 0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く | — 【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β:4.2E6 H3:1.5E5 (2015.2.27) | 充填済(立坑D上部を除く) |
| 25-2 | 4号機海水配管トレンチ | ・4号機海水配管トレンチ | 4号機タービン建屋海側 | 0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く | — | 充填済(建屋接続部近傍及び建屋接続部近傍の開口部を除く) |
| 26 | 3号機起動用変圧器ケーブルダクト | ・3号機起動用変圧器ケーブルダクト | 3号機山側 | 約830 (2018.12.10) | Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β: 4.4E2 H3: ND (2017.10) | |
| 27 | 廃棄物処理建屋間連絡ダクト | ・廃棄物処理建屋間連絡ダクト | プロセス主建屋北側 | 充填完了 | — | 充填済 |
| 28 | 1-4号建屋未接続トレンチ | ・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サーージタンク連絡ダクト ・1号機オプガス配管ダクト 等 | 1-4号機周辺 | 約1~830 (2018.12) | Cs134:ND~2.3E1 Cs137:7.0E0~2.7E2 全β:5.4E1~7.2E2 H3:ND~1.7E3 (2018.11~2019.1) | 量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2018年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照 |
| 29 | 1~4号機サブドレンビット No.15,16(未復旧ビット) | ・サブドレンビットNo.15,16 | 1~4号機周辺「未復旧」 | 約20 | No.16 Cs134:9.3E4 Cs137:1.5E6 全β: 1.8E6 H-3: 1.9E4 (2019.9.11) | |
| 30 | その他1~4号機サブドレン(デューウェル含む)(未復旧ビット) | ・1号機~4号機サブドレン | 1~4号機周辺「未復旧」 | 約15/ビット | No.47,48 Cs134:ND~3.9E1 Cs137:4.8E1~9.6E1 全β:7.9E1~2.8E2 H-3:ND (2014.11.10) | |

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.11.21時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

| No. | 箇所 | 対象 | 場所 | 量(m ³) | 放射性物質濃度[Bq/L] | 備考 |
|------|---------------------|---|--------------------|-----------------------------|--|---|
| 31-1 | 1~4号機逆洗弁ピット | ・1号機逆洗弁ピット | 1号タービン建屋 海側 | 約300 (2018.12.17) | (2018.12.17) Cs134:1.4E3 Cs137:1.7E4 全β: 2.0E4 H3: 1.6E2 | |
| | | ・2号機逆洗弁ピット | 2号タービン建屋 海側 | 約900 (2018.12.21) | (2018.12.21) Cs134:3.9E1 Cs137:5.0E2 全β: 5.8E2 H3: 1.6E2 | |
| | | ・3号機逆洗弁ピット | 3号タービン建屋 海側 | 0 (2019.3.28) | — *水抜き済のため、水抜き前分析結果の記載削除 | 3号機逆洗弁ピットの水抜き・充填済 |
| | | ・4号機逆洗弁ピット | 4号タービン建屋 海側 | 約1400 (2018.12.12) | (2018.12.12) Cs134:6.7E1 Cs137:8.2E2 全β: 1.0E3 H3: 1.2E2 | |
| 31-2 | 1・4号機吐出弁ピット | ・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット | 1号タービン建屋 海側 | 0 (2015.11) | — | 水抜き・充填済 |
| | | ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット | 4号タービン建屋 海側 | 0 (2015.10) | — | 水抜き・充填済 |
| 32 | 1号機放水路 (出口を閉塞済) | ・1号機放水路 (出口を閉塞済) | 1~4号タービン建屋 海側 | 約4200 (2018.12.17) | 【放水路上流側立坑】 (2019.10.23) (2019.11.18) Cs134:5.5E2 2.0E2 Cs137:7.6E3 2.9E3 全β :9.4E3 3.8E3 H3 :2.4E2 1.8E2 | |
| 33 | 2号機放水路 (出口を閉塞済) | ・2号機放水路 (出口を閉塞済) | 2~4号機タービン建屋 海側 | 約3600 (2018.12.14) | 【放水路上流側立坑】 (2019.10.23) (2019.11.18) Cs134:1.4E2 8.7E1 Cs137:2.2E3 1.3E3 全β :2.8E3 1.8E3 H3 :ND ND | |
| 34 | 3号機放水路 (出口を閉塞済) | ・3号機放水路 (出口を閉塞済) | 3~4号機タービン建屋 海側 | 約1600 (2018.12.17) | Cs134:4.1E1 4.3E1 Cs137:6.0E2 6.7E2 全β :7.1E2 7.5E2 H3 :2.1E2 ND (2019.10.9) (2019.11.6) | |
| 35 | キャスク保管建屋 | ・キャスク保管建屋 | 物揚場 西側 | 約4500 | Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23) | |
| 36 | 5号CSTタンク (溶接タンク) | ・5号CSTタンク (溶接タンク) | 屋外(建屋エリア) | 約1100 (2019.7.10) | (2019.9.19) (2019.10.29) Cs134: ND ND Cs137: ND ND Co60: 4.3E2 3.7E2 | プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する) |
| 37 | 6号CSTタンク (溶接タンク) | ・6号CSTタンク (溶接タンク) | 屋外(建屋エリア) | 約1700 (2019.7.10) | (2019.10.10) Cs134: ND Cs137: ND Co60: ND | プラント保有水を貯留 (プラント系統として運用 中のため量は変動する) |
| 38 | 5/6号他 トレンチ | ・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等 | 5~6号機周辺 | 約1~1900 (2015.10~2016.1) | Cs134:ND~2.2E2 Cs137:ND~9.9E2 (2015.10~2016.1) | |
| 39 | 5, 6号機サブドレン | ・5,6号機サブドレンピット | 5~6号機周辺 ※「復旧対象」 | 約15/ピット | Cs134:ND Cs134:ND~3.5 全β :ND~4.8 H-3:ND~140 (採水期間:2017.10~2018.3) | |

汚染水等構内溜まり水の状況（2019.11.21時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

| No. | 箇所 | 対象 | 場所 | 量(m ³) | 放射性物質濃度[Bq/L] | 備考 | |
|-----|----------------------------|-----------------------------|---------------------|--|---|--|--|
| 40 | キャスク保管建屋サブドレン | ・キャスク保管建屋サブドレン | 物揚場 西側 | 約15/ピット | Cs134:1.0E+1 Cs137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18) | | |
| 41 | SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク) | ・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク) | SPT建屋 | 約2800 (2015.3.25時点) | Cs134:8.0E+4 Cs137:1.6E+5 Co60:6.5E+2 (2013.8.27) | プラント保有水等を貯留 | |
| 42 | 集中ラド周リサブドレン | ・集中ラド周リサブドレン | 主プロセス建屋等 各建屋周辺 | 約15/ピット | Cs134:ND Cs137:ND~5.3E1 (2019.10.23) | ND ND~5.7E1 (2019.11.20) | |
| 43 | メガフロート | ・メガフロート | 港湾内 | 約4700 (2019.10.24) 約3800 (2019.11.21) | No.5VOID Cs134:ND Cs137:2.7 Sr90:ND H3: ND (2017.2.16) | バラスト水を貯留 水抜き実施中 | |
| 44 | 純水タンクNo.1 | ・純水タンク | 屋外(建屋エリア) | 約850 | Cs134:2.1 Cs137:7.2 全β:12.2 H-3:ND (2015.5.29) | 震災後、坂下ダム補給水を貯留 | |
| 45 | 5/6号機建屋滞留水 | ・5/6号機建屋滞留水 | 5~6号機 | 約7,400 (2019.9.12時点) | 【5号機】 Cs134:ND Cs137:ND H3: ND 全β: ND (2019.9.5) ND ND ND (2019.10.9) 【6号機】 Cs134:ND Cs137:2.1E0 H3: 1.5E2 全β: ND (2019.9.12) ND 1.7E0 1.2E2 ND (2019.10.10) | | |
| 46 | 排気筒ドレンサンプピット | ・1/2号排気筒ドレンサンプピット | 1~4号機周辺 | 約0.3* ※適宜溜まり水の移送を実施 | (2019.3.5) 全β:2.8E7 Cs134:1.4E6 Cs137:2.0E7 | 2019.10.12以降に水位低下傾向が見られることを確認。 (2019.11.27) | |
| | | ・3/4号排気筒ドレンサンプピット | 1~4号機周辺 | 約2 | (2016.3.17) 全β:1.3E3 Cs134:2.4E2 Cs137:1.1E3 | | |
| | | ・5/6号排気筒ドレンサンプピット | 5/6号機周辺 | 約5 | (2015.9.16) 全β:7.6E1 Cs134:1.2E1 Cs137:4.7E1 | | |
| | | ・集中RW排気筒ドレンサンプピット | 1~4号機周辺 | 約10 | (2015.12.17) 全β:7.6E2 Cs134:1.5E2 Cs137:6.6E2 | | |
| 47 | 固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟) | 固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟) | 固体廃棄物貯蔵庫 (6~8号棟) | 約200 | Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10) | | |
| 48 | 5,6号機海側屋外既設タンク | SPTタンク(5~6号) | 物揚場 北側 | <タンク> 約40 (2019.10.24) 0 (2019.11.21) <雨仕舞> 約160 (2019.10.24) 約80 (2019.11.21) <ポンプ室> 約60 (2019.1.10) 約35 (2019.11.21) | <タンク> Cs134: ND Cs137: 6.2E1 全β: 1.5E2 H-3: 2.9E3 Co60: 4.9E1 (2019.1.10) <雨仕舞> Cs134: ND Cs137: 3.3E1 全β: 3.4E1 H-3: 1.1E3 (2019.1.10) <ポンプ室> Cs134: ND Cs137: 1.8E1 全β: 1.5E1 H-3: 1.5E3 (2019.1.10) | プラント保有水等を貯留 水抜き実施中 | |

タンク建設進捗状況

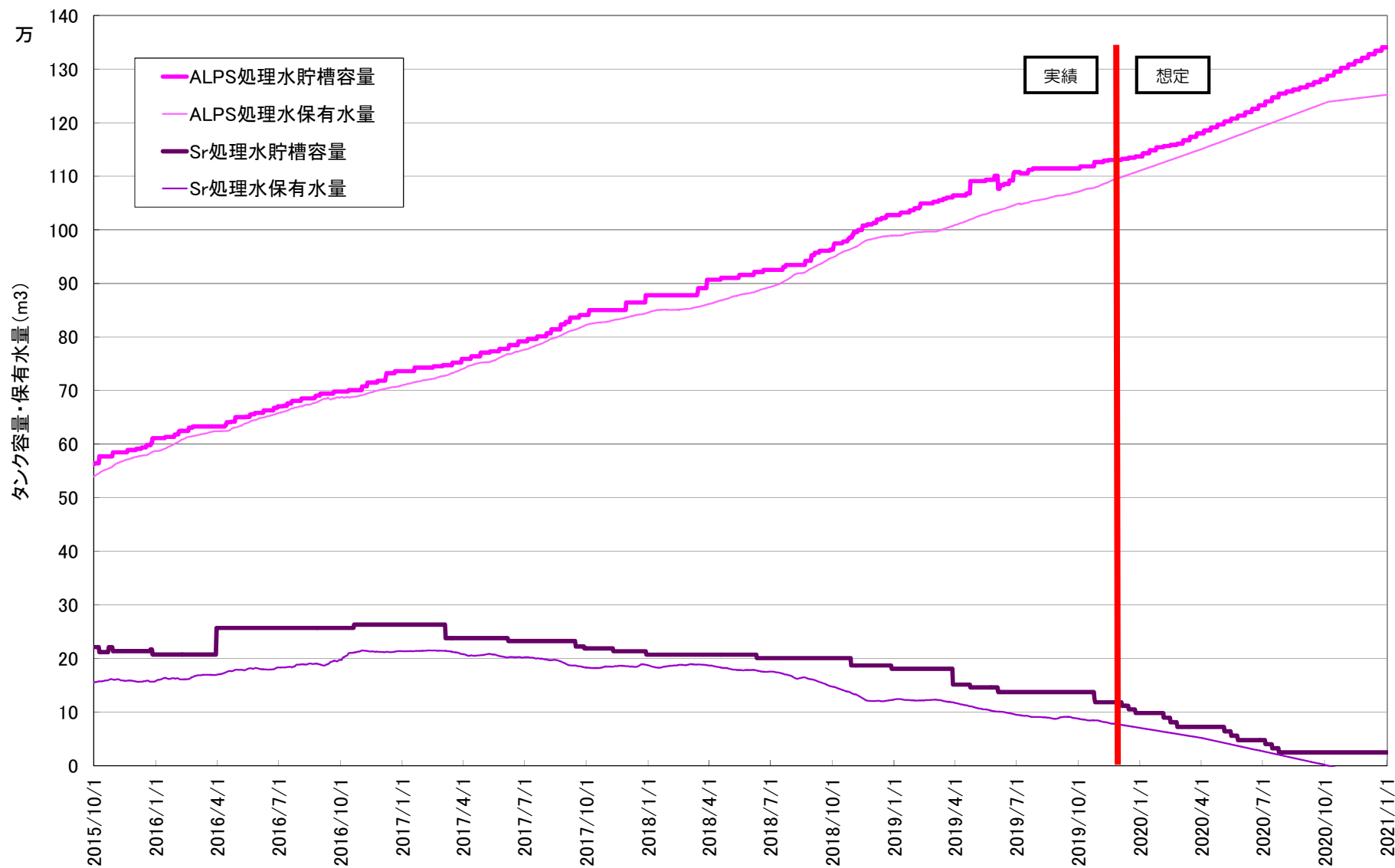
2019年11月28日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1-1. タンク容量と貯留水量の実績と想定

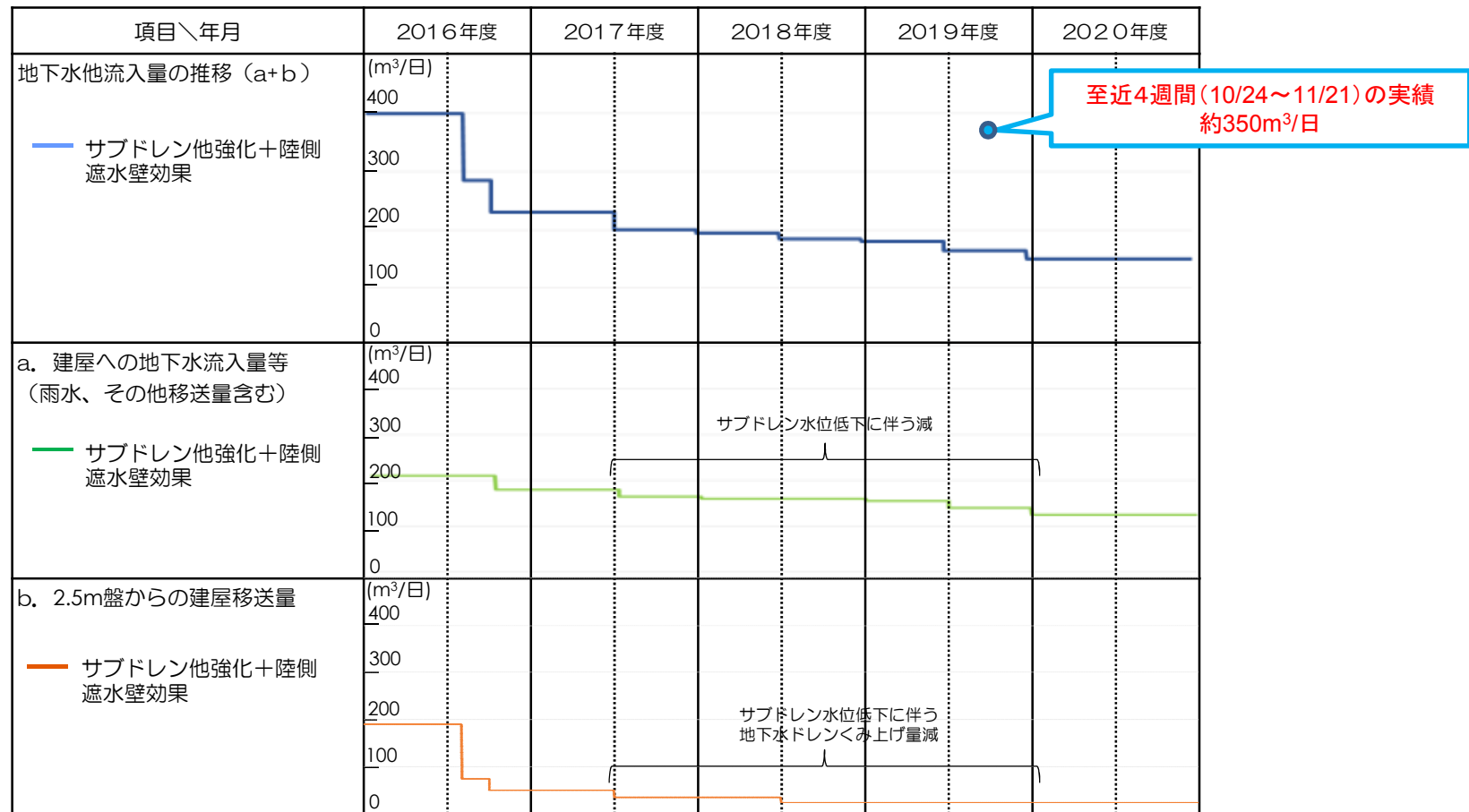
水バランスシミュレーション（サブドレン他強化+陸側遮水壁の効果）



1-2. 貯留水量の想定に用いる地下水他流入量の想定条件と至近の実績

水バランスシミュレーションの前提条件

➤ サブドレン+陸側遮水壁の効果を見込んだケース



2-1. 溶接タンク建設状況

タンクリプレースによる溶接タンク建設容量の計画と実績は以下の通り（～2020年3月）

溶接タンクの月別建設計画と実績

下線は計画

単位：千m³

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 小計 |
|------|------|------|------|------|-----|-----|------|------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|
| 2018 | 4.8 | 10.5 | 23.7 | 13.9 | 3.6 | 8.7 | 19.4 | 14.4 | 15.2 | 12.7 | 12.3 | 11.0 | 150.2 |
| 2019 | 26.9 | 10.0 | 31.0 | 9.1 | 0 | 0 | 11.9 | <u>5.3</u> | <u>9.2</u> | <u>7.9</u> | <u>5.3</u> | <u>11.9</u> | <u>128.5</u> |

タンク容量の確保計画と実績（全体※1）

| | 計画 (2020.12.31時点) | 実績※2 (2019.11.21時点) | タンク容量確保目標 ：約510m ³ /日(約270m ³ /日※3) (2019/11/21～ 2020/12/31) [建設・再利用合計] |
|--------|-----------------------|---|---|
| タンク総容量 | 約1,365千m ³ | 約1,158千m ³ (約1,255千m ³ ※3) | |

※1：水位計0%以下の容量（約2千m³）及び日々の水処理に必要なSr処理水用タンク（約24.7千m³（既設置））を含む

※2：「福島第一原子力発電所における高濃度の放射性物質を含むたまり水の貯蔵及び処理の状況について（第428報）」にて計算

※3：Sr処理水用タンクからALPS処理水用タンクとして再利用する分（約97千m³（既設置））を含む

2-2. タンク進捗状況

1. タンク建設・解体関係

| エリア | 全体状況 |
|-----|---|
| C・E | フランジタンクの解体作業中。 |
| H6 | 2017/3/28 地下貯水槽No.5（H6北の北側）撤去作業着手。 2017/6/26 地下貯水槽No.5撤去完了。 2017/9/11 H6エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/2/16 H6北エリアフランジタンクの解体作業着手。 2018/9/12 H6エリアタンク設置開始。 2018/9/20 H6・H6北フランジタンク解体・撤去完了。 2019/11/8 タンク設置完了 |
| G1 | 2019/2/27 鋼製横置きタンク撤去完了。 2019/4/1 タンク設置開始。 地盤改良・基礎構築・タンク設置実施中。 |
| G4 | 2018/9/13 G4南フランジタンクの解体作業着手。 2019/3/21 G4南フランジタンク解体・撤去完了。 地盤改良・基礎構築実施中。 |

2. 実施計画申請関係

| エリア | 申請状況 |
|--------|---|
| G4北、G5 | タンク解体分：2019/5/22 実施計画変更申請 11/22 実施計画補正申請 |

3. フランジ型タンク/溶接型タンクの運用状況

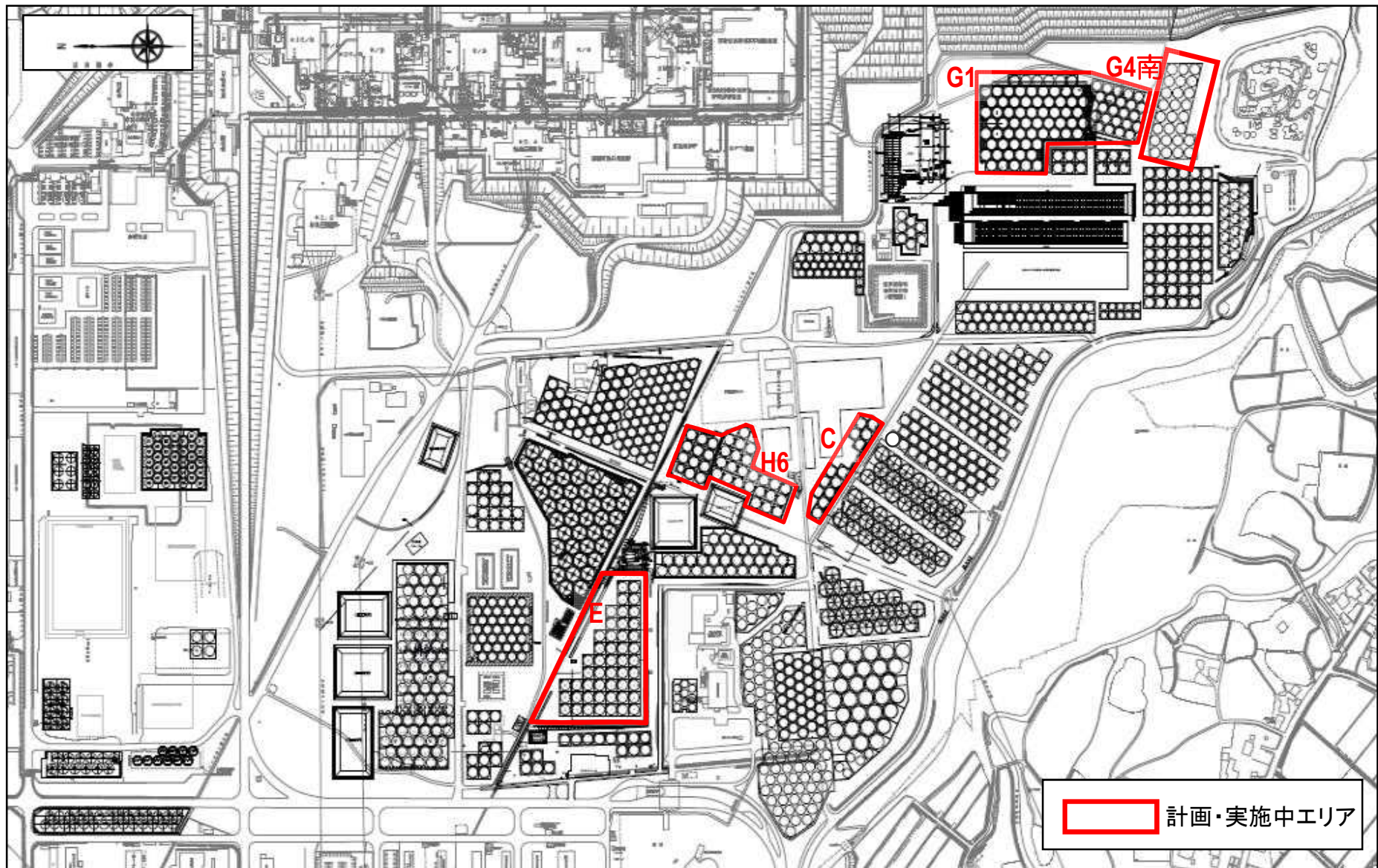
- フランジ型タンクの淡水について、現在Sr処理水が貯留されている溶接型タンクを再利用し貯留する計画。タンクの再利用にあたり、実施計画の進捗状況を踏まえ、2019年11月26日よりフランジ型タンクから溶接型タンクへ移送開始。2019年12月頃に移送完了する見込み。上記時期見直しによる溶接型タンク内Sr処理水の再利用予定の処理完了時期に変更なし（2020年8月頃）。

< タンク水一覧 >

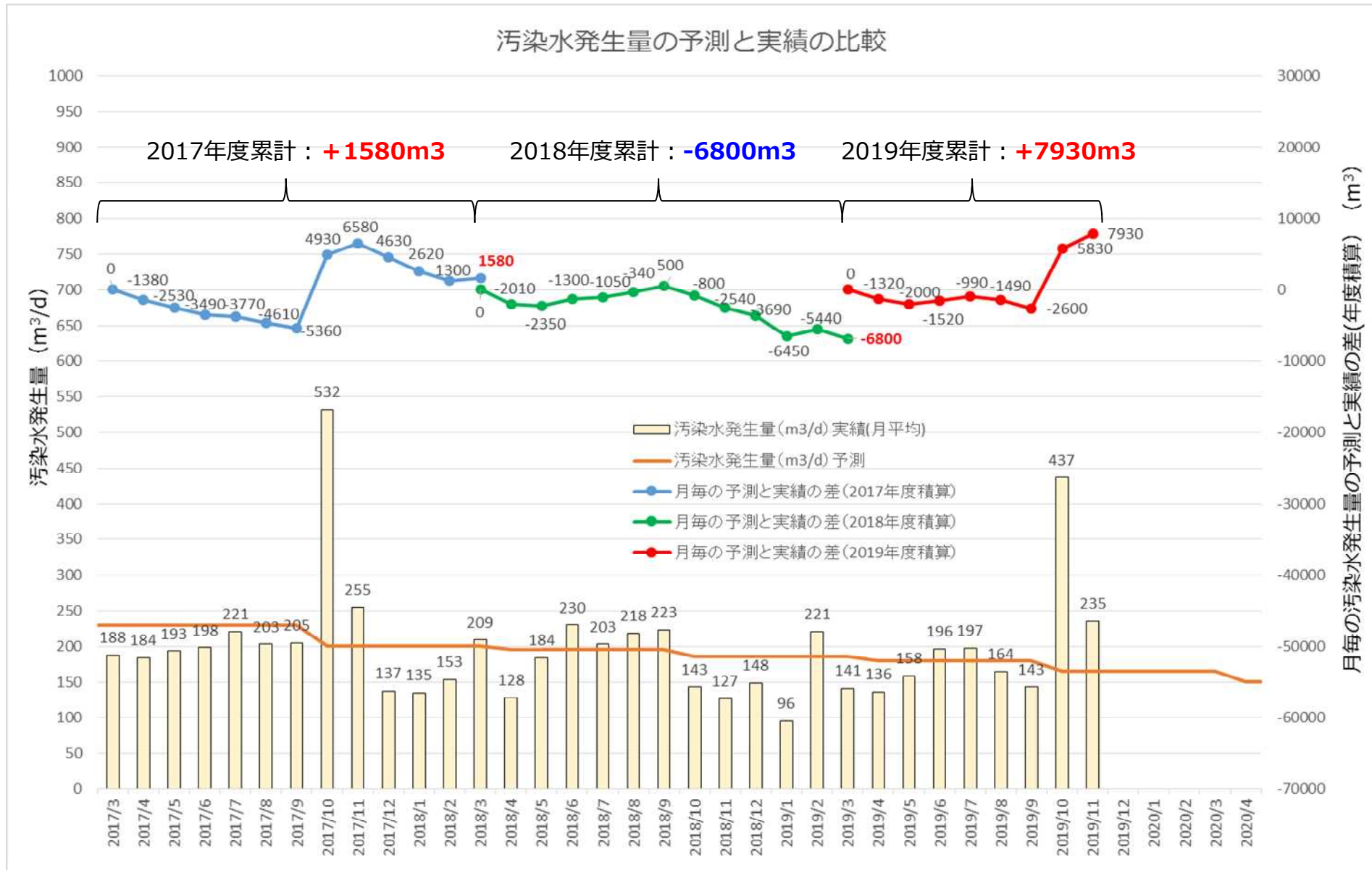
2019.11.28時点

| 対象 | | 設備容量 | ステータス | 処理完了時期 | |
|--------------|-----------------|---------------------------------|------------------------------|----------------------|----------|
| フランジ型 タンク | Sr処理水 | 残水 (約0万m ³) | 完了 | 2018年11月17日 | |
| | ALPS処理水 | 残水 (約0.01万m ³) | 完了 (一部残水処理中) | 2019年3月27日 | |
| | 淡水 (一時貯留タンク) | 約1.2万m ³ [12基] | 2019年11月26日より 溶接タンクへ移送中 | 2019年12月頃 | |
| 溶接型 タンク | Sr処理水 | 運用タンク (一時貯留タンク) | 約2.5万m ³ [24基] | 運用中 | — |
| | | ALPS処理水タンク として再利用予定 | 約9.7万m ³ [93基] | 2018年12月より 水抜き実施中 | 2020年8月頃 |
| | ALPS処理水 | 約114.0万m ³ [852基] | 貯留中 | — | |

【参考】タンクエリア図



【参考】汚染水発生量の予測と実績について（2019/11/21迄）



建屋内における残水等の状況について

| No. | 号機 | 建屋 | 対象エリア | 区分 | 区分の判断日※1 | 運用目標値／基準値 (mm) | 測定頻度 | 今回 | | | 1回前 | | | 2回前 | | | 最終排水実績 | 排水計画 | 床面(mm) | 水位計の有無 | 水位調整不可能予定時期 | 備考 | |
|-----|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------|----------------|-------------|------------|----------------|--------------|------------|----------------|--------------|------------|----------------|--------------|-------------|------------|-------------|-----------------------------|---------------|---|--------------|
| | | | | | | | | 確認日 | 水位 | 1回前との水位差(mm) | 確認日 | 水位 | 2回前との水位差(mm) | 確認日 | 水位 | 3回前との水位差(mm) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 1号機 | T/B | 電気マンホールNo.1 | 排水完了エリア | 2017/7/5 | T.P. 3.023 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/28 | T.P. 2.063 | 320 | 2019/10/16 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/28 | - | T.P. 1.743 | 無 | 完了済 | 大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。 | |
| | | | 電気マンホールNo.2 | 排水完了エリア | 2017/7/5 | T.P. 2.293 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/28 | T.P. 2.073 | 330 | 2019/10/16 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/28 | - | T.P. 1.743 | 無 | 完了済 | 大雨警報発報時に、マンホール上部に水たまりや流入経路は目視にて確認できなかった。 | |
| 2 | | | 主油タンク室 | 排水完了エリア | 2017/7/5 | T.P. 3.463 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/7 | 測定下限値以下 | - | - | - | T.P. 3.443 | 無 | 完了済 | | |
| 3 | | | 復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室 | 排水完了エリア | 2017/7/27 | T.P. 2.063 | 1回/3ヶ月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/9/10 | 測定下限値以下 | - | - | - | T.P. 2.043 | 無 | 完了済 | | |
| 4 | | | ハウスボイラ室 | 排水完了エリア | 2017/7/11 | T.P. 2.250 | 1回/週 | 2019/11/5 | T.P. 1.333 | 20 | 2019/10/28 | T.P. 1.313 | 60 | 2019/10/23 | T.P. 1.253 | 0 | 2018/9/12 | 11/12~13 | T.P. 943 | 有(露出) | 完了済 | サブドレン水位より高い状態で、水位上昇が確認されたため、測定頻度を1回/月→1回/週へ変更して傾向監視 | |
| 5 | | | ディーゼル発電機(B)室 | 排水完了エリア | 2017/7/19 | T.P. 1.926 | 1回/週 | 2019/11/5 | T.P. 1.303 | 0 | 2019/10/28 | T.P. 1.303 | 180 | 2019/10/23 | T.P. 1.123 | 270 | 2019/11/1 | 11/7,8,11 | T.P. 543 | 有(露出) | 完了済 | サブドレン水位より高い状態で、水位上昇が確認されたため、測定頻度を1回/月→1回/週へ変更して傾向監視 | |
| 6 | | | 床ドレンサンプ | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | 2019/10/8 | T.P. -658 | - | 2019/9/6 | T.P. -669 | - | 2019/8/7 | T.P. -395 | - | - | - | 有 | 完了済 | | |
| 7 | | | 機器ドレンサンプ | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | |
| 8 | | | 復水ポンプ配管トレンチ | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | 2019/10/8 | T.P. 23 | - | 2019/9/6 | T.P. -61 | - | 2019/8/7 | T.P. -35 | - | - | - | T.P. -857 | 有 | 完了済 | 水位は仮設水位計にて計測 |
| 9 | | | 復水ポンプピット(A) | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | |
| 10 | 復水ポンプピット(B) | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | | | |
| | 復水ポンプピット(C) | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | | | |
| | 給水加熱器ドレンポンプピット(A) | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | | | |
| 11 | 2号機 | T/B | 給水加熱器ドレンポンプピット(B) | 床面以下に貯留する残水 | 2018/7/24 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | | |
| | | | 12 | 床ドレンサンプト(A) | 床面以下に貯留する残水 | 2019/4/22 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | |
| 13 | | | 床ドレンサンプト(B) | 床面以下に貯留する残水 | 2019/4/22 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | | |
| 14 | | | 高電導度廃液サンプ | 床面以下に貯留する残水 | 2019/4/22 | - | - | 1回/日 | - | 測定困難※3 | - | - | - | - | - | - | - | - | 無 | 完了済 | | | |
| 15 | | | 低圧復水ポンプエリア | 建屋貯留水 | - | - | - | 2019/10/8 | T.P. -1.208 ※4 | - | 2019/9/6 | T.P. -1.194 ※4 | - | 2019/8/7 | T.P. -1.039 ※4 | - | - | - | T.P. -1.752 | 無 | - | 復水器エリアと連通性有※2 | |
| 16 | | | C/B(バッテリー室) | 排水完了エリア | 2018/1/31 | T.P. 1.599 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/7 | 測定下限値以下 | - | 2018/1/26 | - | T.P. 448 | 無 | 完了済 | | |
| 17 | | | C/B(電気品室) | 排水完了エリア | 2018/1/18 | T.P. 1.664 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/7 | 測定下限値以下 | - | 2018/1/15 | - | T.P. 448 | 有(露出) | 完了済 | | |
| 18 | | | パッチ油タンク室 | 排水完了エリア | 2018/3/26 | T.P. 1.668 | 1回/週 | 2019/11/5 | T.P. 598 | 0 | 2019/10/28 | T.P. 598 | 10 | 2019/10/15 | T.P. 588 | 0 | 2019/5/28 | 2019/11/14 | T.P. 448 | 有(露出) | 完了済 | サブドレン水位より高い状態で、水位上昇が確認されたため、測定頻度を1回/月→1回/週へ変更して傾向監視 | |
| 19 | | | 消火ポンプ室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2018/3/26 | 測定下限値以下 | - | 2018/3/26 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | 2018/3/26 | - | T.P. 448 | 有(露出) | - | 復水器エリアと連通性有※2 | |
| 20 | | | 電気油圧式制御装置室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2018/1/31 | 測定下限値以下 | - | 2018/1/31 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | - | T.P. 448 | 無 | - | 復水器エリアと連通性有※2 | |
| 21 | 3号機 | T/B | ディーゼル発電機(A)室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2017/12/27 | 測定下限値以下 | - | 2017/12/27 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | T.P. 448 | 有(露出) | - | 復水器エリアと連通性有※2 | | |
| | | | ディーゼル発電機(B)室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2017/12/27 | 測定下限値以下 | - | 2017/12/27 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | T.P. 463 | 有(露出) | - | 復水器エリアと連通性有※2 | | |
| | | | ディーゼル発電機(A)室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2017/12/27 | 測定下限値以下 | - | 2017/12/27 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | T.P. 463 | 有(露出) | - | 復水器エリアと連通性有※2 | | |
| | | | T/B地下階北東廊下 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2017/12/25 | 測定下限値以下 | - | 2017/12/25 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | T.P. 463 | 無 | - | 復水器エリアと連通性有※2 | | |
| | | | 電気油圧式制御装置室 | 排水完了エリア | 2018/2/2 | T.P. 1.725 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/8 | 測定下限値以下 | - | 2019/6/14 | - | T.P. 463 | 無 | 完了済 | 11/7:10mm程水位低下が確認されたが、誤差によるものと判断した。 | |
| | | | 消火ポンプ室 | 排水完了エリア | 2018/3/20 | T.P. 1.644 | 1回/週 | 2019/11/5 | T.P. 583 | 0 | 2019/10/28 | T.P. 583 | 10 | 2019/10/15 | T.P. 573 | 0 | 2019/5/16 | 2019/11/15 | T.P. 463 | 有(露出) | 完了済 | サブドレン水位より高い状態で、水位上昇が確認されたため、測定頻度を1回/月→1回/週へ変更して傾向監視 | |
| | | | パッチ油タンク室 | 排水完了エリア | 2018/3/20 | T.P. 1.665 | 1回/週 | 2019/11/5 | T.P. 523 | 0 | 2019/10/28 | T.P. 523 | 20 | 2019/10/15 | T.P. 503 | 0 | 2019/5/24 | 2019/11/18 | T.P. 463 | 有(露出) | 完了済 | サブドレン水位より高い状態で、水位上昇が確認されたため、測定頻度を1回/月→1回/週へ変更して傾向監視 | |
| 22 | C/Bエリア | 建屋貯留水 | - | - | - | 2019/10/8 | T.P. -1,590 | - | 2019/9/6 | T.P. -1,590 | - | 2019/8/7 | T.P. -917 | - | 2019/10/31 | 11/5,6,22,25 | T.P. -1,737 | 有 | 完了済 | 継続した水位上昇を確認。継続して排水する措置を実施中。 | | | |
| 23 | 4号機 | T/B | C/B(バッテリー室) | 排水完了エリア | 2018/2/15 | T.P. 1.683 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/8 | 測定下限値以下 | - | 2018/1/24 | - | T.P. 461 | 有(露出) | 完了済 | | |
| | | | C/B(電気品室) | 排水完了エリア | 2018/2/15 | T.P. 1.636 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/8 | 測定下限値以下 | - | 2018/10/23 | - | T.P. 461 | 有(露出) | 完了済 | 10/23に移送し床面が露出したものの、翌日の水位測定で水位が元に戻っていた。 | |
| | | | パッチ油タンク室 | 排水完了エリア | 2018/3/23 | T.P. 1.622 | 1回/月 | 2019/10/28 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/15 | 測定下限値以下 | - | 2019/10/8 | 測定下限値以下 | - | 2018/10/30 | - | T.P. 461 | 有(露出) | 完了済 | | |
| | | | ディーゼル発電機(A)室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2018/1/26 | 測定下限値以下 | - | 2018/1/26 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | T.P. 461 | 有(露出) | - | 復水器エリアと連通性有※2 | | |
| | | | 電気油圧式制御装置室 | 建屋貯留水 | - | - | - | 2018/1/12 | 測定下限値以下 | - | 2018/1/12 | 測定下限値以下 | - | - | - | - | - | T.P. 461 | 無 | - | 復水器エリアと連通性有※2 | | |

※1: 現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分けするように計画する。

※2: 2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照

※3: 1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンプ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)

※4: 連通のある復水器エリアの水位を記載

2019/10/8 0:00 時点の各建屋水位

| 建屋 | 1号機 | | | 2号機 | | | 3号機 | | | 4号機 | | |
|------------|-------------|----------|----------|-----------|-------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | R/B | Rw/B | T/B※6 | R/B | Rw/B | T/B | R/B | Rw/B | T/B | R/B | Rw/B | T/B |
| 滞留水の水位 | T.P. -1,245 | T.P. 94 | 除去完了 | T.P. -849 | T.P. -1,285 | T.P. -1,208 | T.P. -942 | T.P. -1,293 | T.P. -1,220 | T.P. -1,517 | T.P. -1,284 | T.P. -1,210 |
| 周辺サブドレン設定値 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 | T.P. 550 |

※5: 1号機T/Bの最下階の床レベルはT.P.443mm

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

2019/11/29

水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のまま判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水

